

日野市
男女平等についての市民アンケート
調査結果報告書

令和元年10月

日野市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査方法と回収状況	3
3. 調査項目	3
4. 調査結果を見る上での注意事項	3
第2章 調査結果の詳細	5
1. 対象者の属性	7
(1) 性別	7
(2) 年齢	7
(3) 居住年数	8
(4) 職業	10
(5) 婚姻状況	12
(6) パートナーの職業	14
(7) 世帯構成	16
(8) 末子の年齢	18
2. 男女平等参画の意識について	20
(1) 家庭等に関する考え方	20
(2) 男女平等の意識	55
3. 家事・子育て・介護について	88
(1) 行っている家事等	88
(2) 家事・育児・介護の従事時間	92
(3) 男性が家事・育児・介護・地域活動に参加するために必要なこと	113
(4) 社会活動・地域活動への参加状況	117
(5) 参加している活動	121
(6) 活動に参加していない理由	125
4. 防災分野に男女平等の視点から必要なこと	129
(1) 防災分野で男女平等の視点を活かすために必要なこと	129
5. 仕事について	131
(1) 女性が職業をもつことについての考え	131
(2) 女性が職業をもつことについての考えの理由	135
(3) 制度の利用状況	139
(4) 制度を利用したことがない理由	141
(5) 育児・介護休業制度を取りやすくするために必要なこと	145
(6) 管理職以上に昇進することのイメージ	149
(7) 女性が出産しても同じ職場で働き続けるために必要なこと	153
(8) 政策の企画や方針決定に関わる役職に女性があまり進出していない理由	157
(9) 女性リーダーが増えることの影響	161

(10) 女性リーダーを増やすときに障害になるもの	165
(11) 職場における性別による違い	169
6. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について	173
(1) 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度	173
(2) 「ワーク・ライフ・バランス」の実現のために必要なこと	178
7. 性的マイノリティに関することについて	182
(1) 自分の性の違和感を覚えた、悩んだ経験の有無	182
(2) 自分の性の違和感を覚え始めた時期	184
(3) 自分の性の違和感等を相談した経験の有無	186
(4) 自分の性の違和感等の相談相手	188
(5) 自分の性の違和感等を相談しなかった理由	190
(6) カミングアウトされた場合に変わりなく接することができるか	192
(7) 性的マイノリティに対して必要な自治体の取り組み	194
8. 配偶者や交際相手からの暴力について	196
(1) DV（配偶者や交際相手からの暴力）を受けた経験	196
(2) DV（配偶者や交際相手からの暴力）を相談した経験の有無	199
(3) DV（配偶者や交際相手からの暴力）の相談相手	201
(4) DV（配偶者や交際相手からの暴力）を相談しなかった理由	204
(5) DV（配偶者や交際相手からの暴力）に関して必要な対策	207
9. 若年層を取り巻く性犯罪・性暴力について	210
(1) 若年層の性被害等の問題の原因	210
(2) 子どもの性被害等の防止に必要なこと	213
10. ハラスメントに関することについて	216
(1) ハラスメントを受けた経験	216
(2) 取り組んでほしいハラスメント対策	220
11. 日野市が取り組むべきことについて	223
(1) 日野市が特に力を入れていくべき男女平等に向けた取り組み	223

調査票	229
-----	-----

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

日野市は、一人ひとりが男女平等のもとに互いに個性と能力を尊重し、豊かに暮らせる社会を目指して、平成10年に「男女共同参画都市宣言」を行い、平成14年に施行した「日野市男女平等基本条例」に基づき、平成28年度から「第3次男女平等行動計画」を推進しております。この度次期計画「第4次男女平等行動計画」を策定するにあたり、市民の意見を男女平等施策に反映するための基礎資料として、「日野市男女平等についての市民意識アンケート調査」を行いました。

2. 調査方法と回収状況

調査対象：日野市在住の18歳から89歳までの男女から1,500名を無作為抽出

調査方法：郵送によるアンケート調査（はがきによる督促1回）

調査期間：令和元年6月28日（金）～7月22日（月）

<回収状況>

発送数	有効回収数	回収率
1,500件	560件	37.3%

3. 調査項目

調査項目
1. 対象者の属性
2. 男女平等参画の意識について
3. 家事・子育て・介護について
4. 防災分野に男女平等の視点から必要なこと
5. 仕事について
6. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について
7. 性的マイノリティに関することについて
8. 配偶者や交際相手からの暴力について
9. 若年層を取り巻く性犯罪・性暴力について
10. ハラスメントに関することについて
11. 日野市が取り組むべきことについて

4. 調査結果を見る上での注意事項

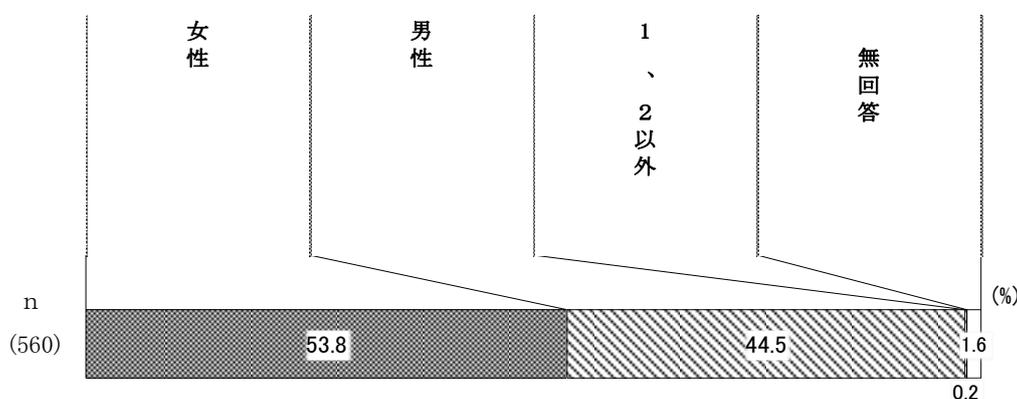
- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しています。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合があります。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。

第2章 調査結果の詳細

1. 対象者の属性

(1) 性別

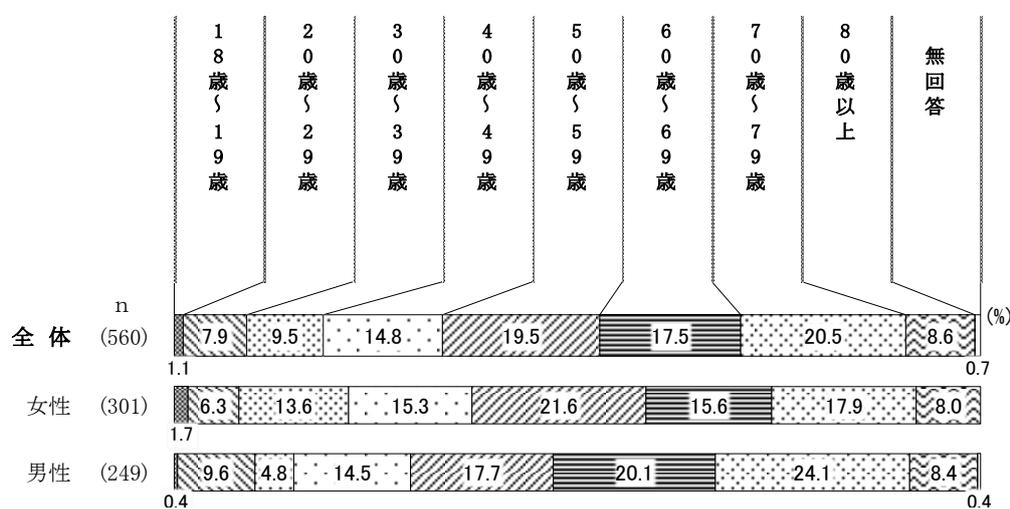
問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)



性別は、「女性」が53.8%、「男性」が44.5%、「1、2以外」が0.2%となっています。

(2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

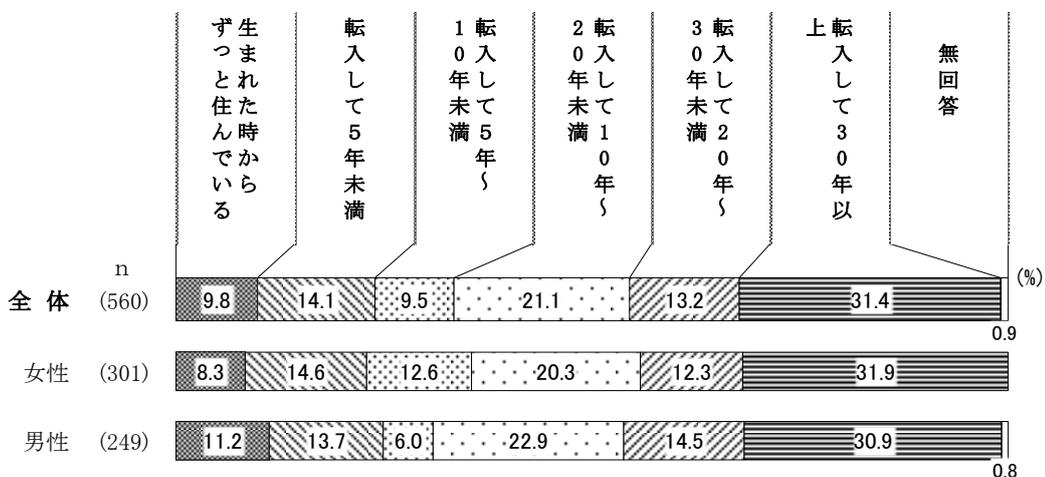


年齢は、「70歳～79歳」が20.5%で最も高く、次いで「50歳～59歳」が19.5%、「60歳～69歳」が17.5%となっています。

男女別で見ると、女性において「30歳～39歳」が男性と比べて8.8ポイント高くなっています。一方で、男性において「70歳～79歳」が女性と比べて6.2ポイント高くなっています。

(3) 居住年数

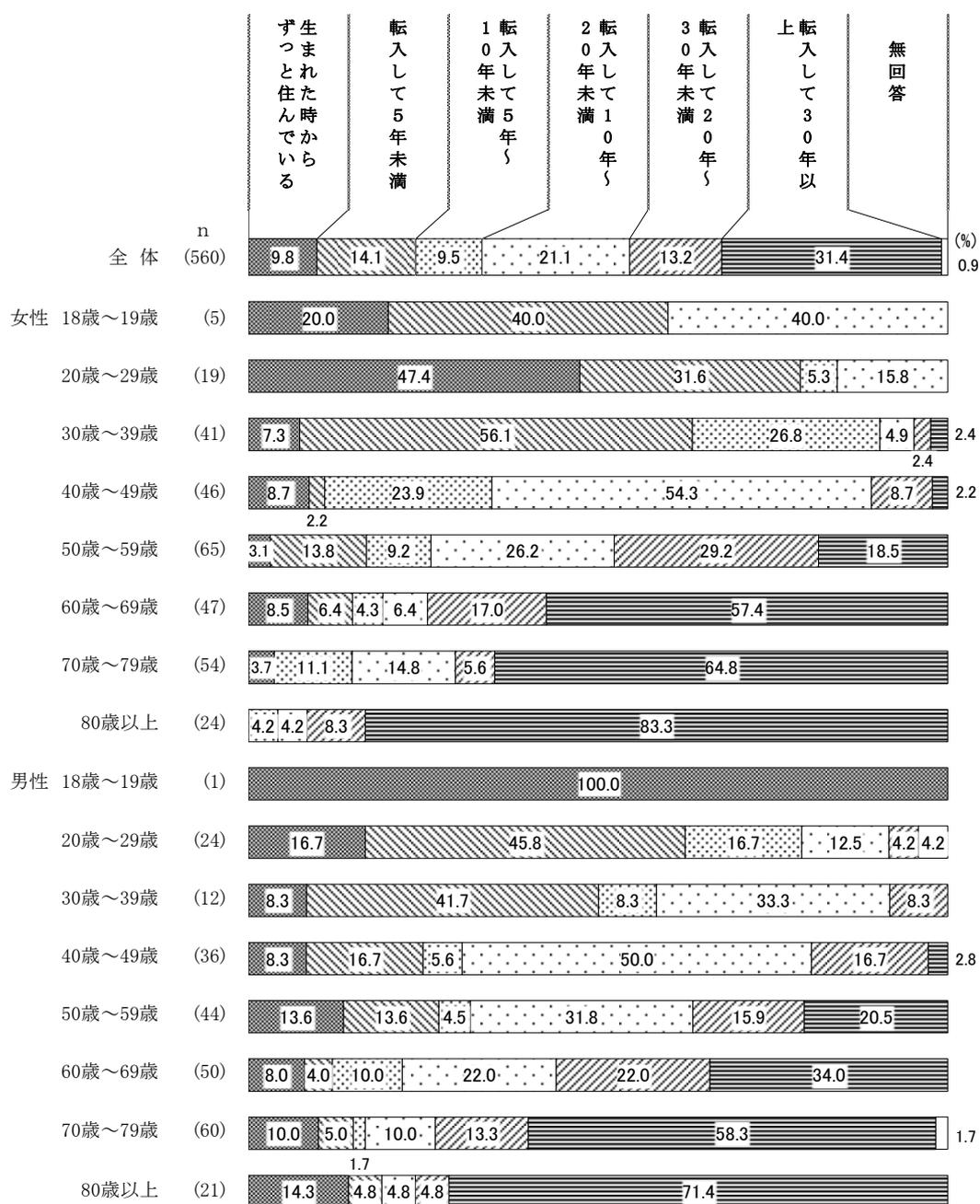
問3 日野市にお住まいになって通算何年になりますか。(〇は1つ)



居住年数は、「転入して30年以上」が31.4%で最も高く、次いで「転入して10年～20年未満」が21.1%、「転入して5年未満」が14.1%となっています。

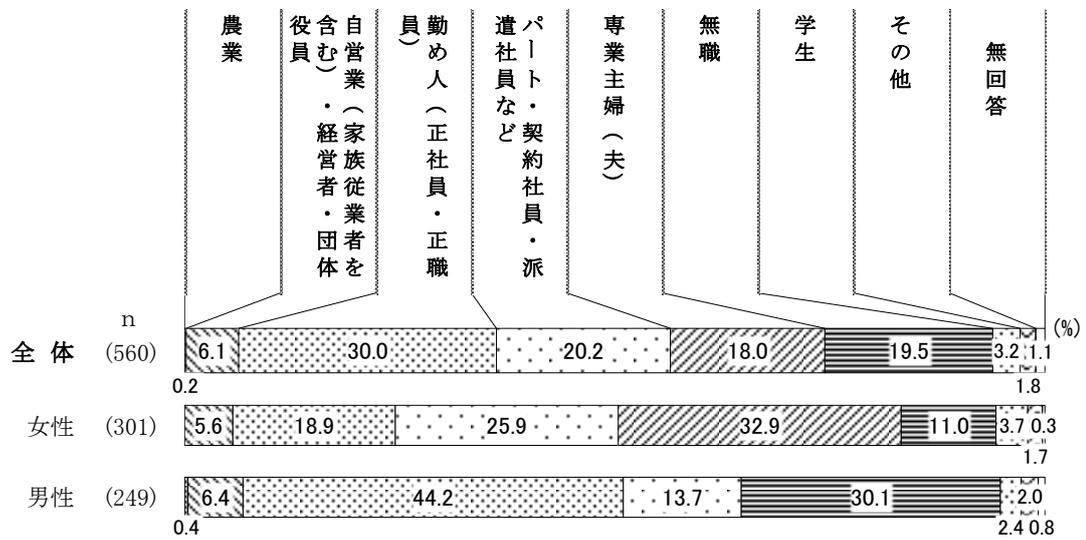
男女別で見ると、女性において「転入して5年～10年未満」が男性と比べて6.6ポイント高くなっています。

【性年齢別】



(4) 職業

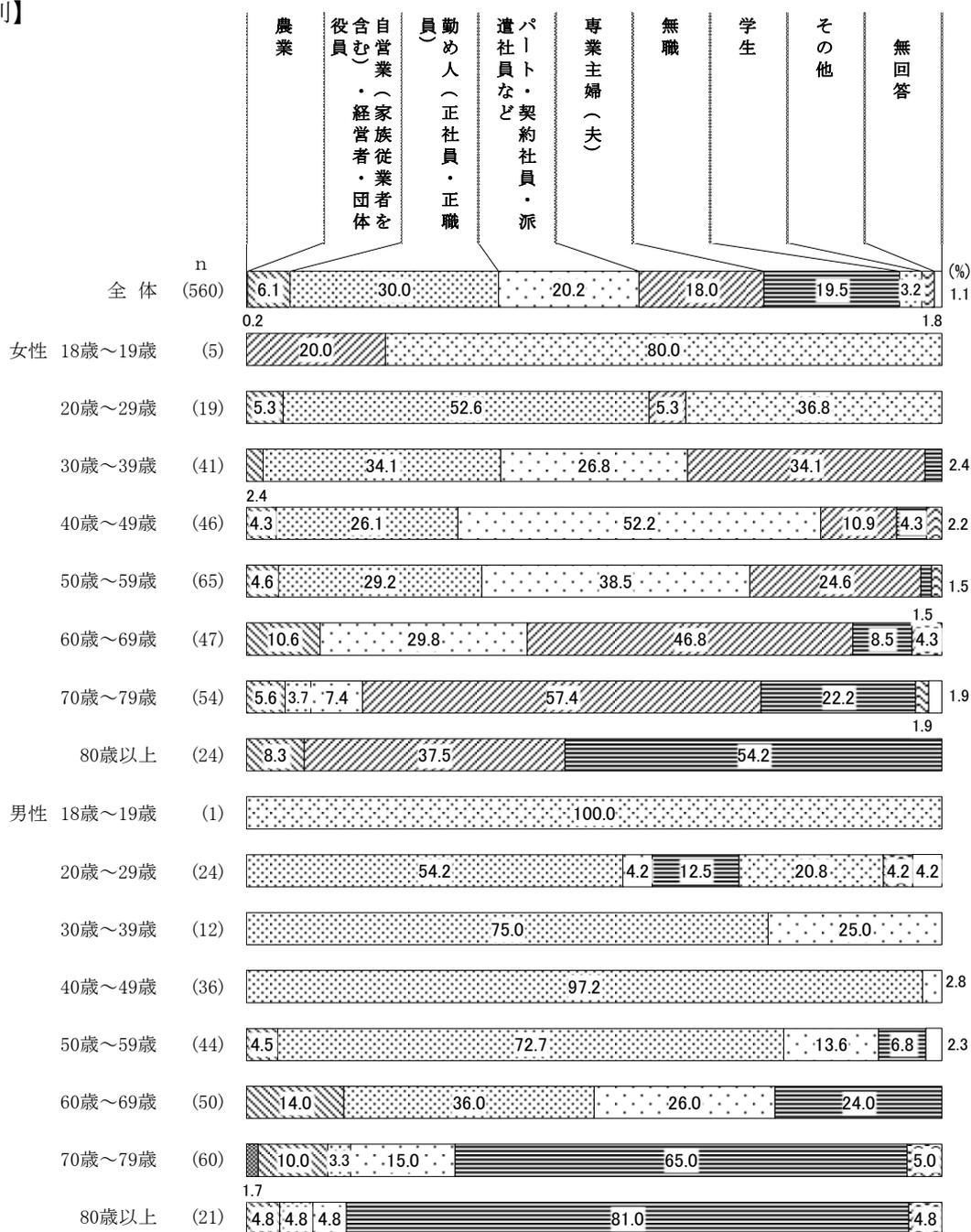
問4 あなたのご職業をお答えください。(〇は1つ)



職業は、「勤め人 (正社員・正職員)」が30.0%で最も高く、次いで「パート・契約社員・派遣社員など」が20.2%、「無職」が19.5%となっています。

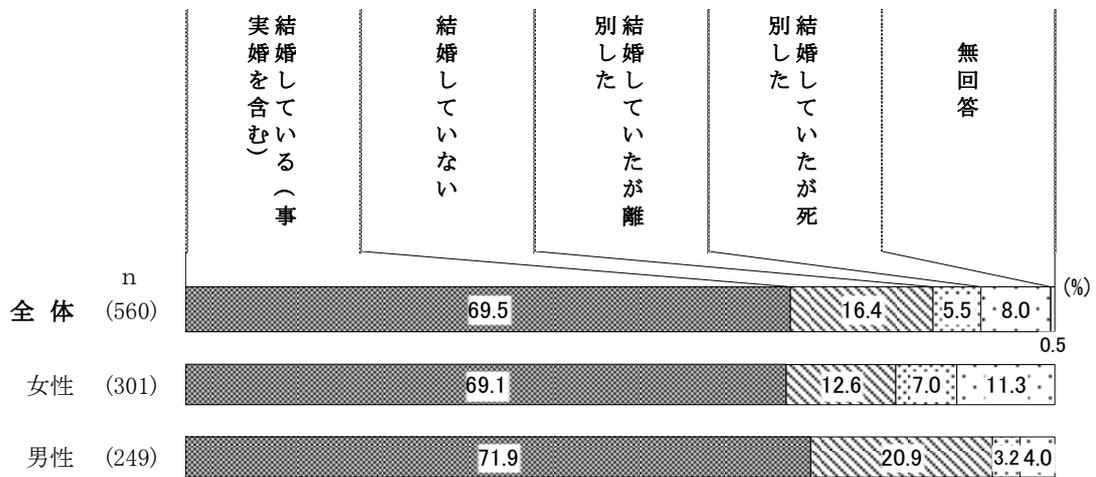
男女別で見ると、女性において「パート・契約社員・派遣社員など」が男性と比べて12.2ポイント高くなっています。一方で、男性において「勤め人 (正社員・正職員)」が女性と比べて25.3ポイント高くなっています。

【性年齢別】



(5) 婚姻状況

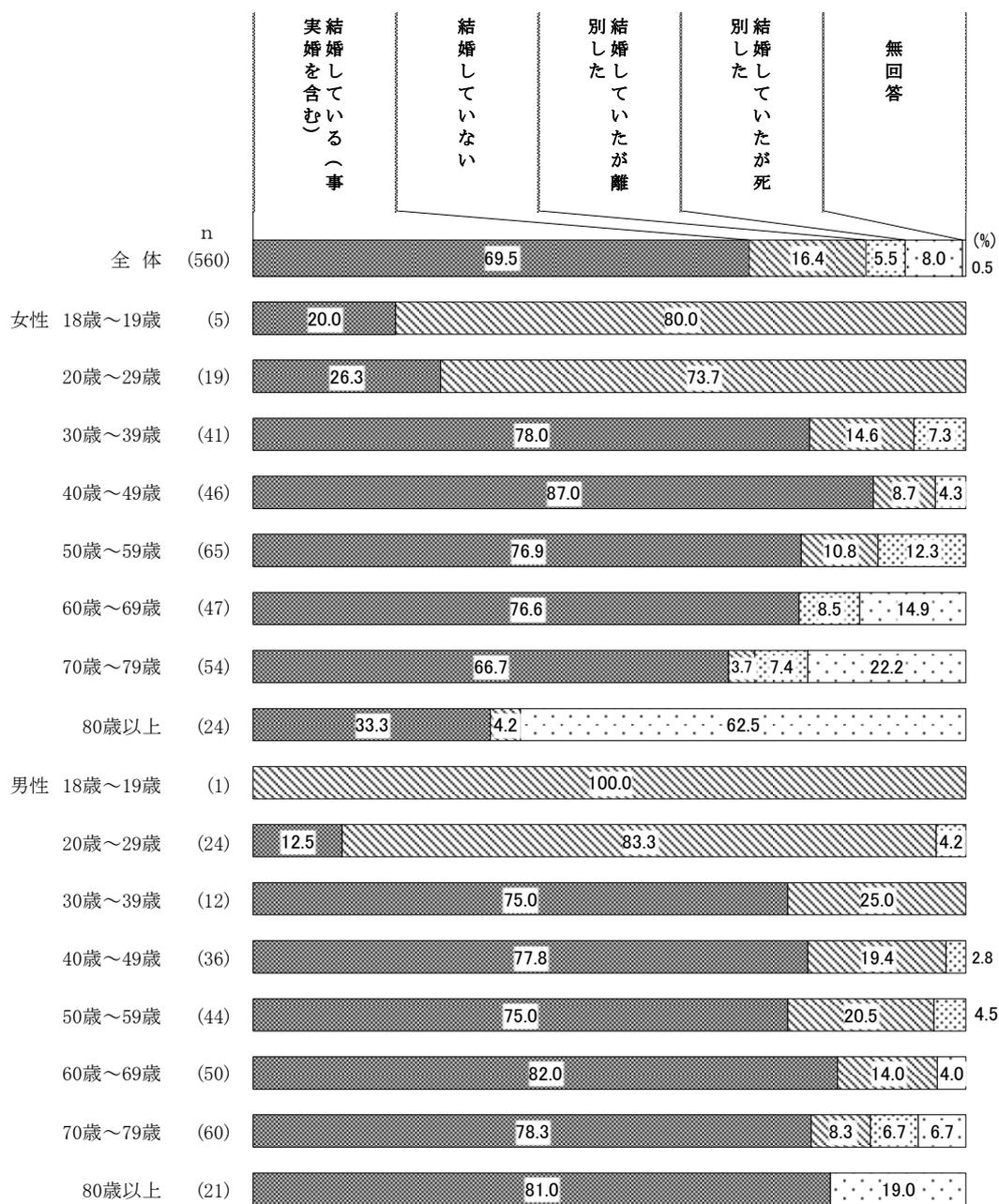
問5 あなたは結婚されていますか。(〇は1つ)



婚姻状況は、「結婚している（事実婚を含む）」が69.5%で最も高く、次いで「結婚していない」が16.4%、「結婚していたが死別した」が8.0%となっています。

男女別で見ると、男性において「結婚していない」が女性と比べて8.3ポイント高くなっています。

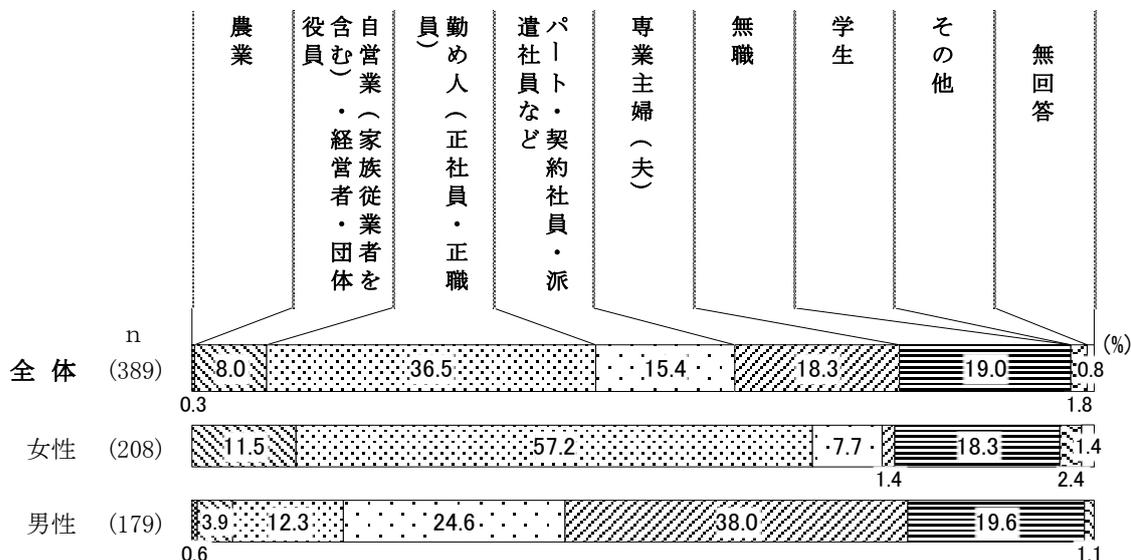
【性年齢別】



(6) パートナーの職業

問5で「1. 結婚している（事実婚を含む）」とお答えの方にお伺いします。

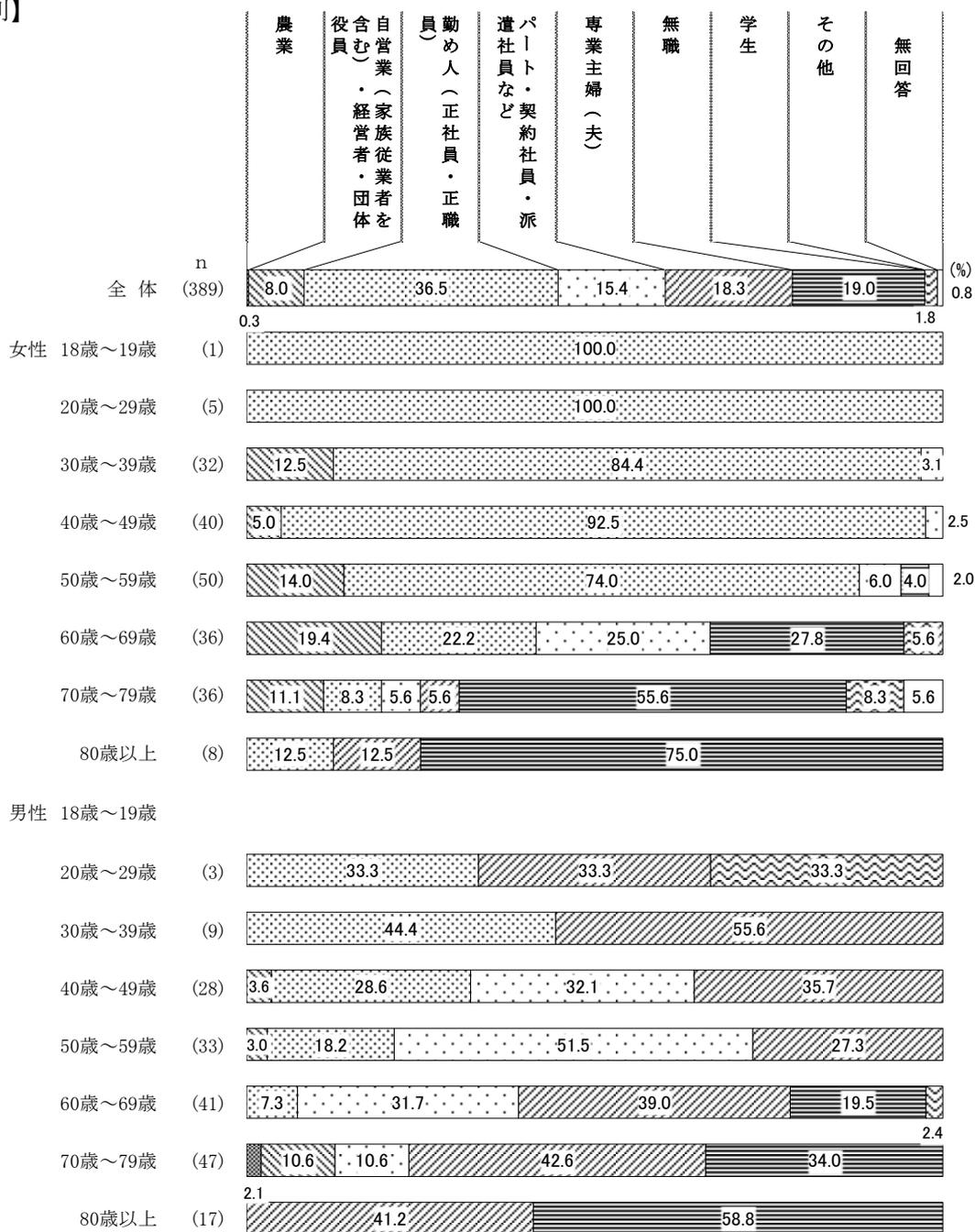
問6 あなたのパートナーのご職業をお答えください。（〇は1つ）



パートナーの職業は、「勤め人（正社員・正職員）」が36.5%で最も高く、次いで「無職」が19.0%、「専業主婦（夫）」が18.3%となっています。

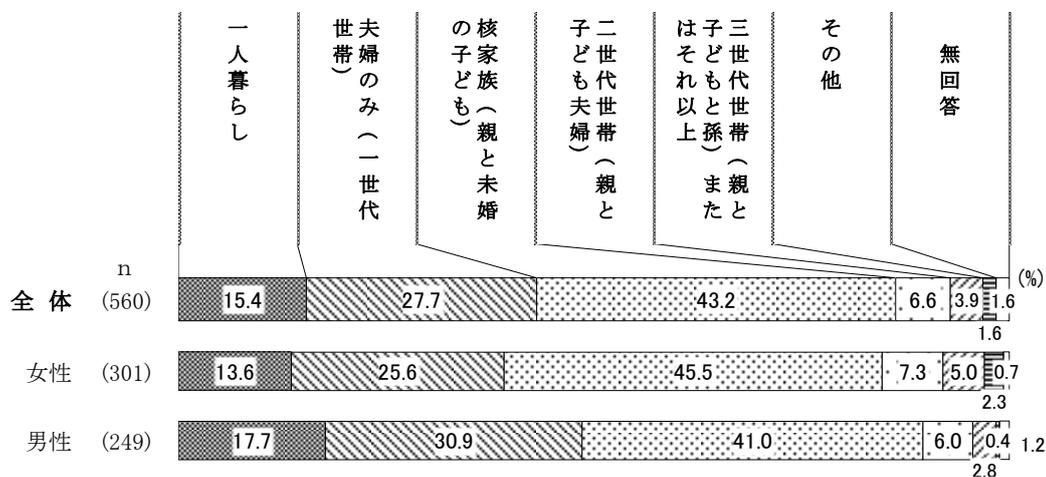
男女別で見ると、女性のパートナーにおいて「勤め人（正社員・正職員）」が男性のパートナーと比べて44.9ポイント高くなっています。一方で、男性のパートナーにおいて「専業主婦（夫）」が女性のパートナーと比べて36.6ポイント高くなっています。

【性年齢別】



(7) 世帯構成

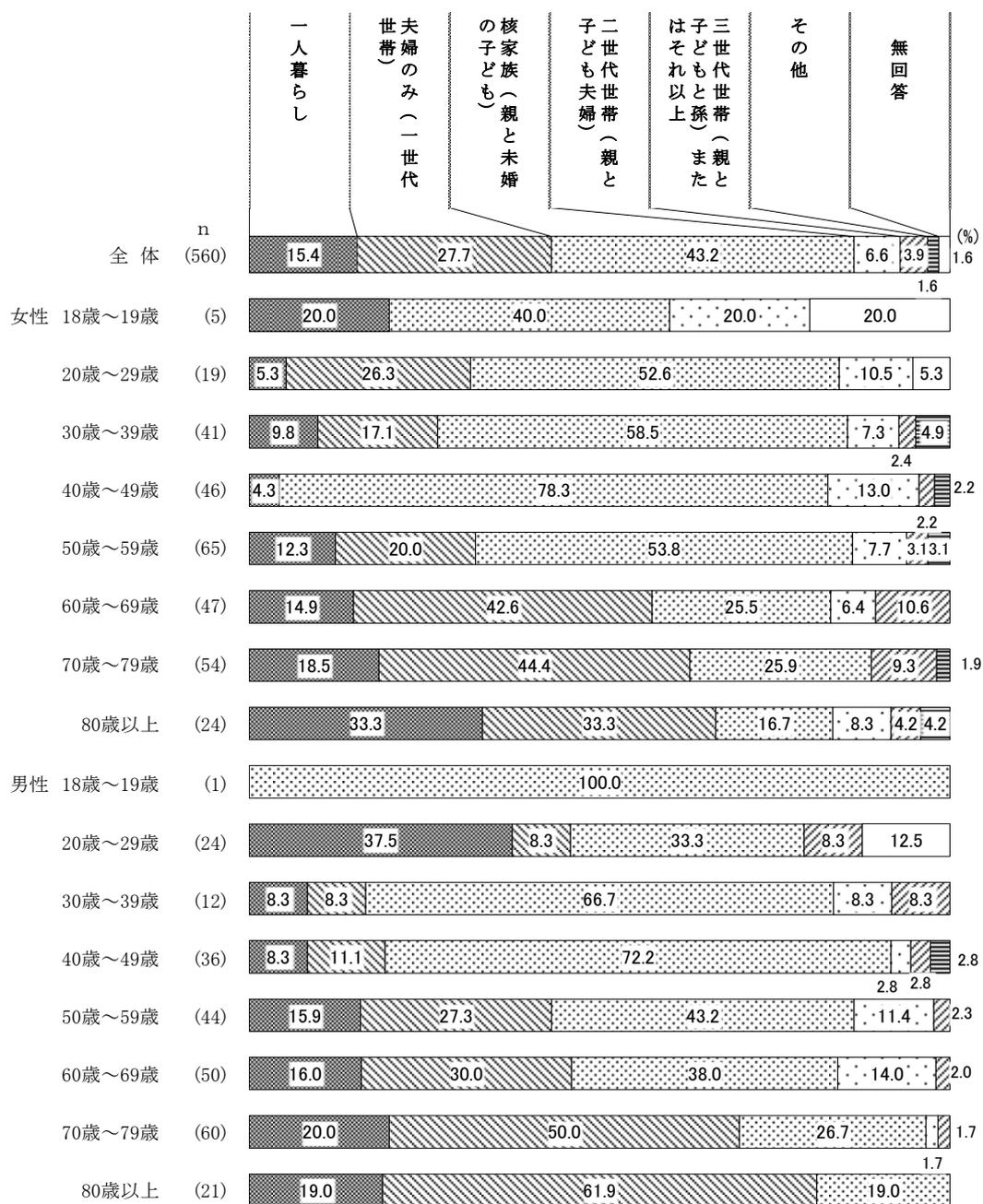
問7 あなたの世帯構成をお答えください。(○は1つ)
 ※ご自身の立場(自分が親、自分が子ども)に関わらずお答えください。



世帯構成は、「核家族（親と未婚の子ども）」が43.2%で最も高く、次いで「夫婦のみ（一世代世帯）」が27.7%、「一人暮らし」が15.4%となっています。

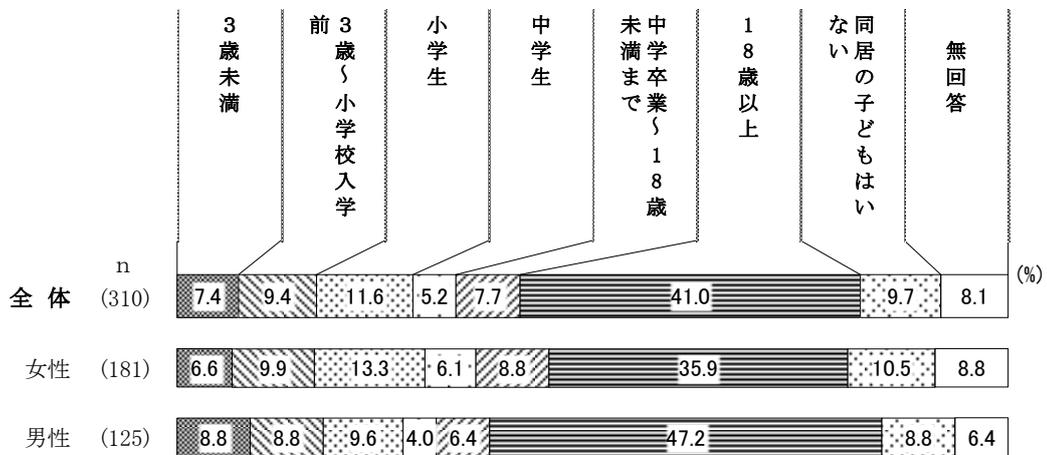
男女別で見ると、男性において「夫婦のみ(一世代世帯)」が女性と比べて5.3ポイント高くなっています。

【性年齢別】



(8) 末子の年齢

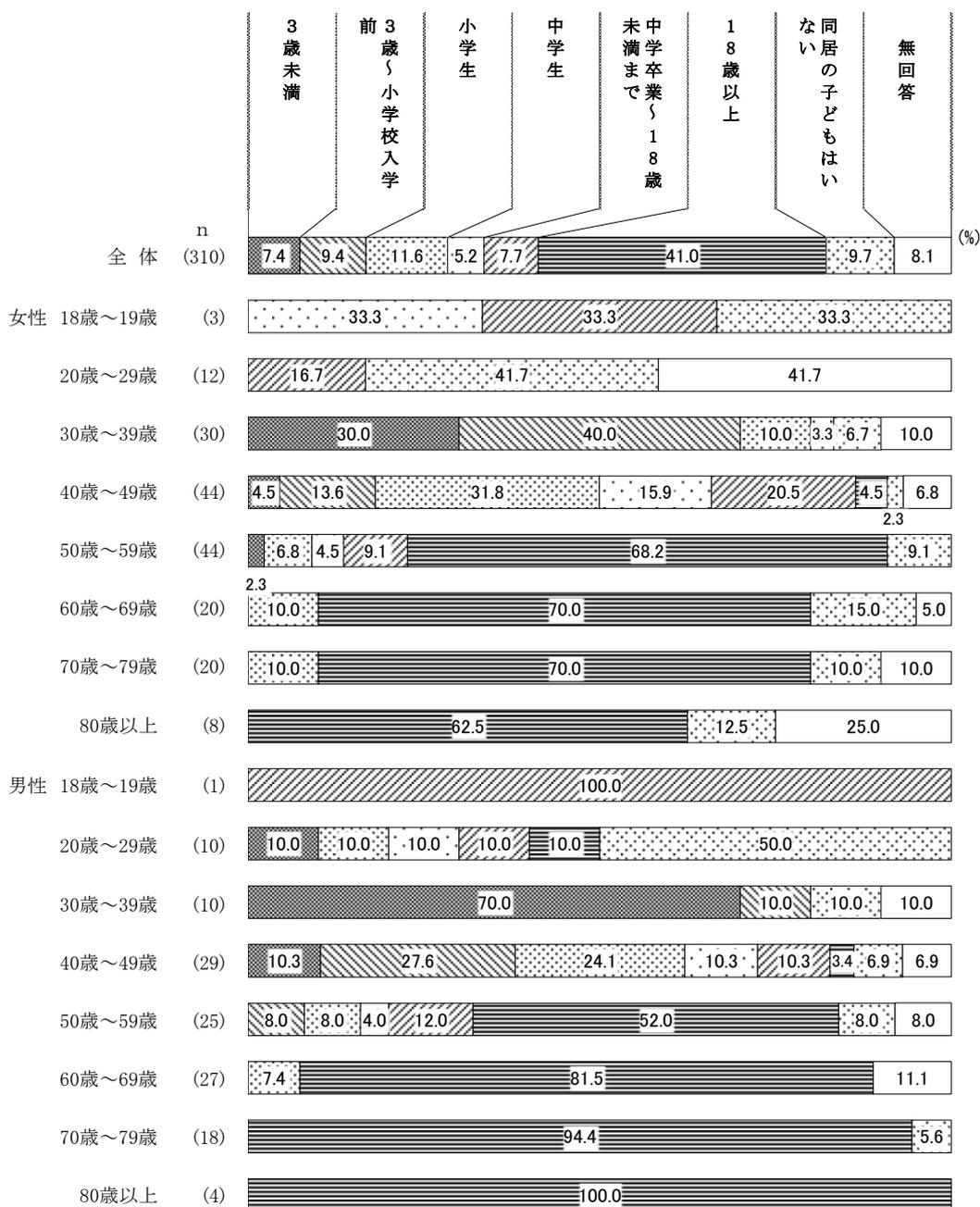
問8 同居のお子さんがいる方は一番下のお子さんの年齢をお答えください。(〇は1つ)



末子の年齢は、「18歳以上」が41.0%で最も高く、「小学生」が11.6%、「同居の子どもはいない」が9.7%となっています。

男女別で見ると、男性において「18歳以上」が女性と比べて11.3ポイント高くなっています。

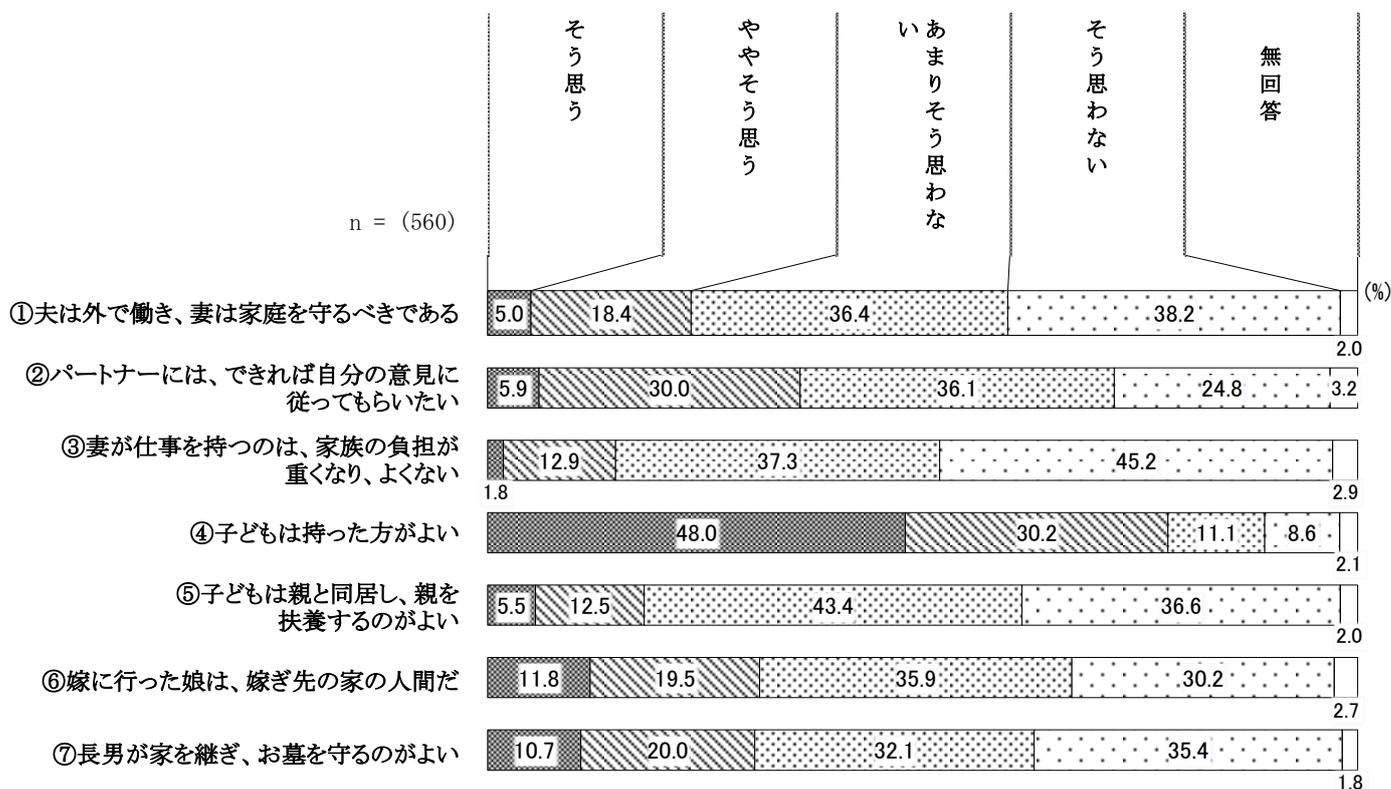
【性年齢別】



2. 男女平等参画の意識について

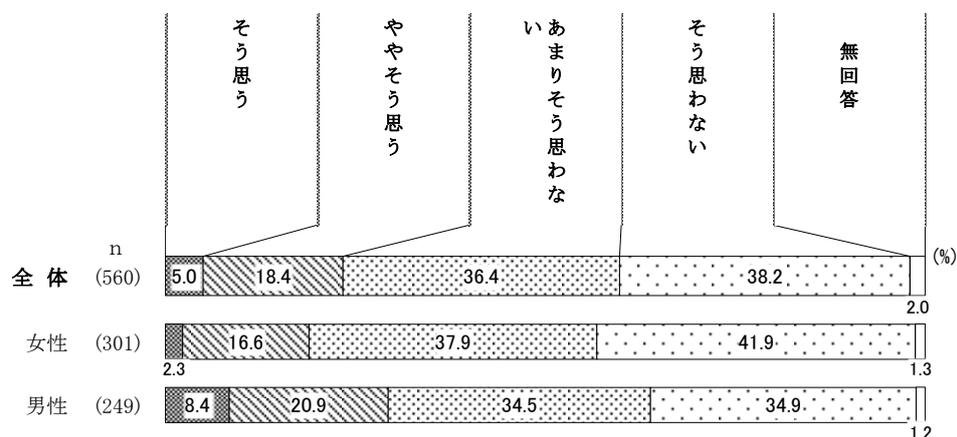
(1) 家庭等に関する考え方

問9 あなたは以下のような考え方についてどのように思われますか。(〇はそれぞれ1つずつ)



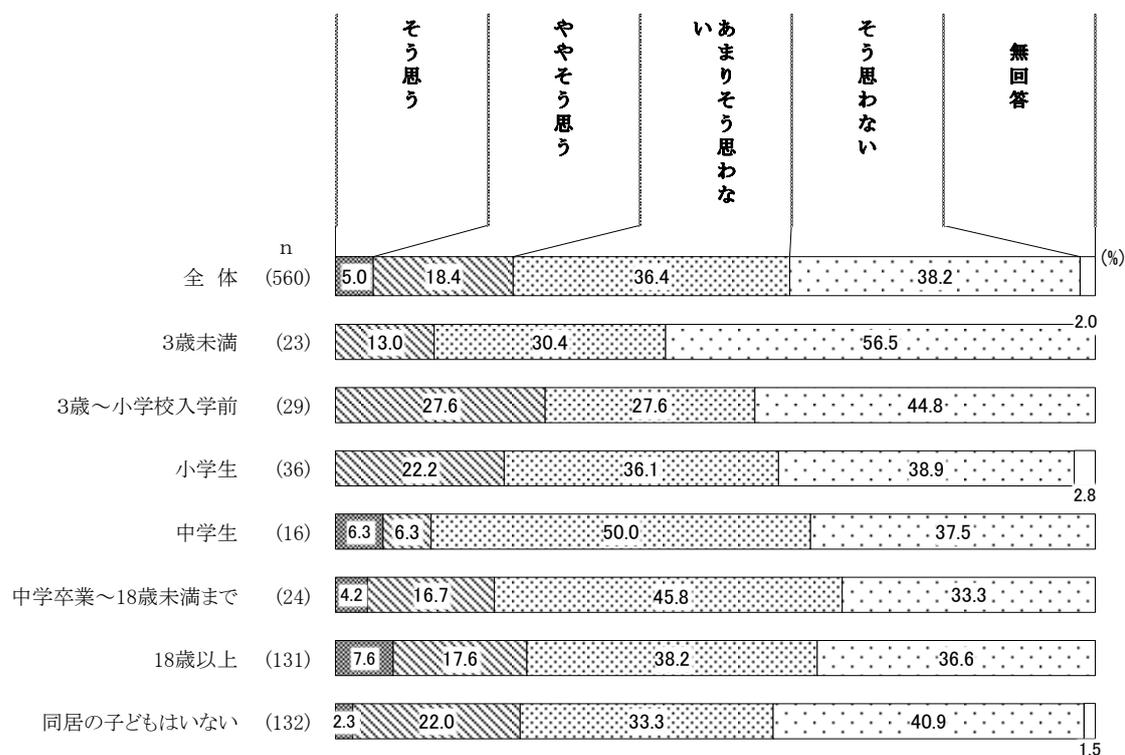
「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた『そう思う』の割合は、【④子どもは持った方がよい】で78.2%となっています。そのほかの項目では、「あまりそう思わない」と「そう思わない」をあわせた『そう思わない』の割合のほうが、『そう思う』の割合より高くなっており、【③妻が仕事を持つのは、家族の負担が重くなり、よくない】で82.5%と最も高く、次いで【⑤子どもは親と同居し、親を扶養するのがよい】で80.0%、【①夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである】で74.6%となっています。

①夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである



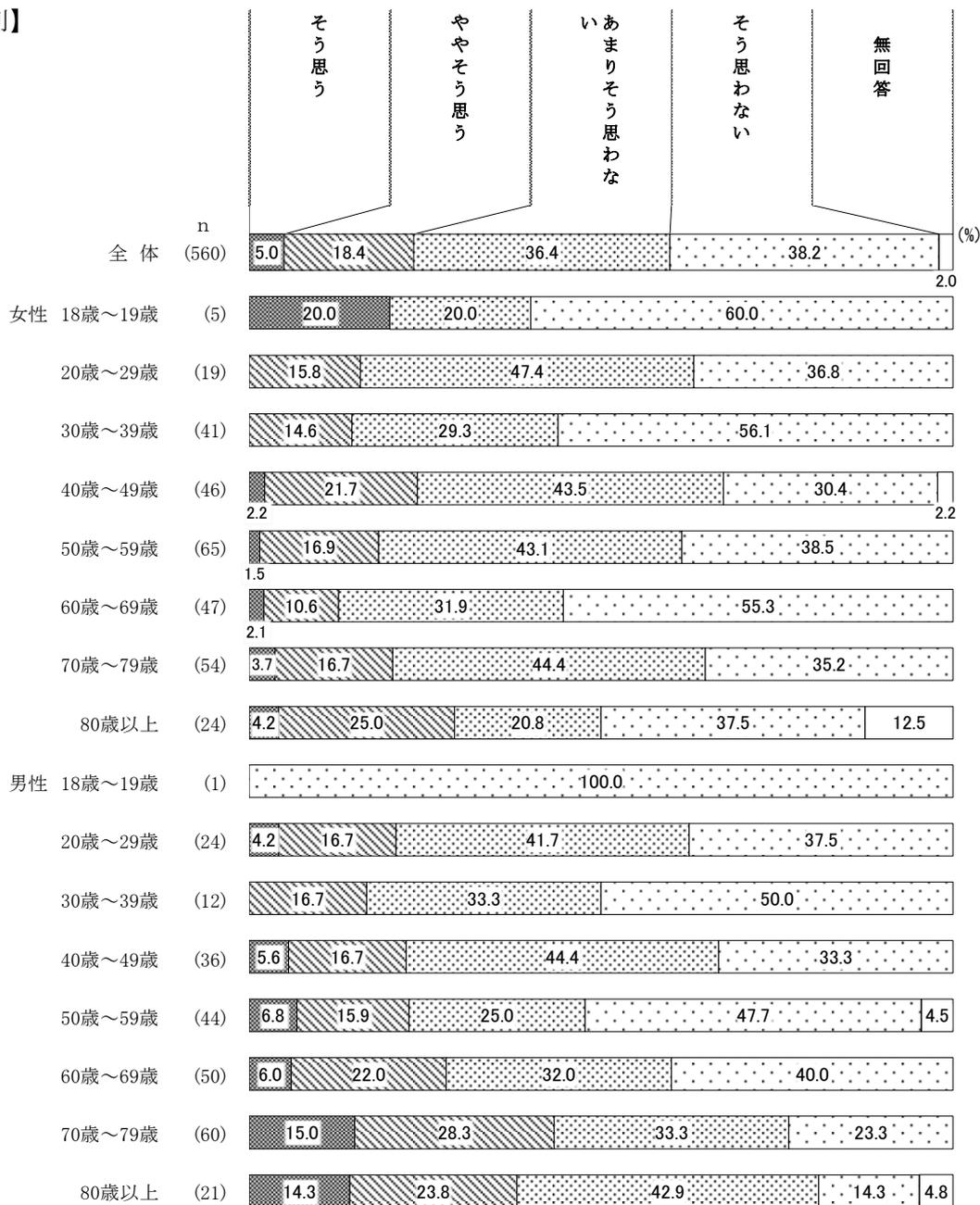
男女別で見ると、女性において「そう思わない」が男性と比べて7ポイント高くなっています。

【末子の年齢別】



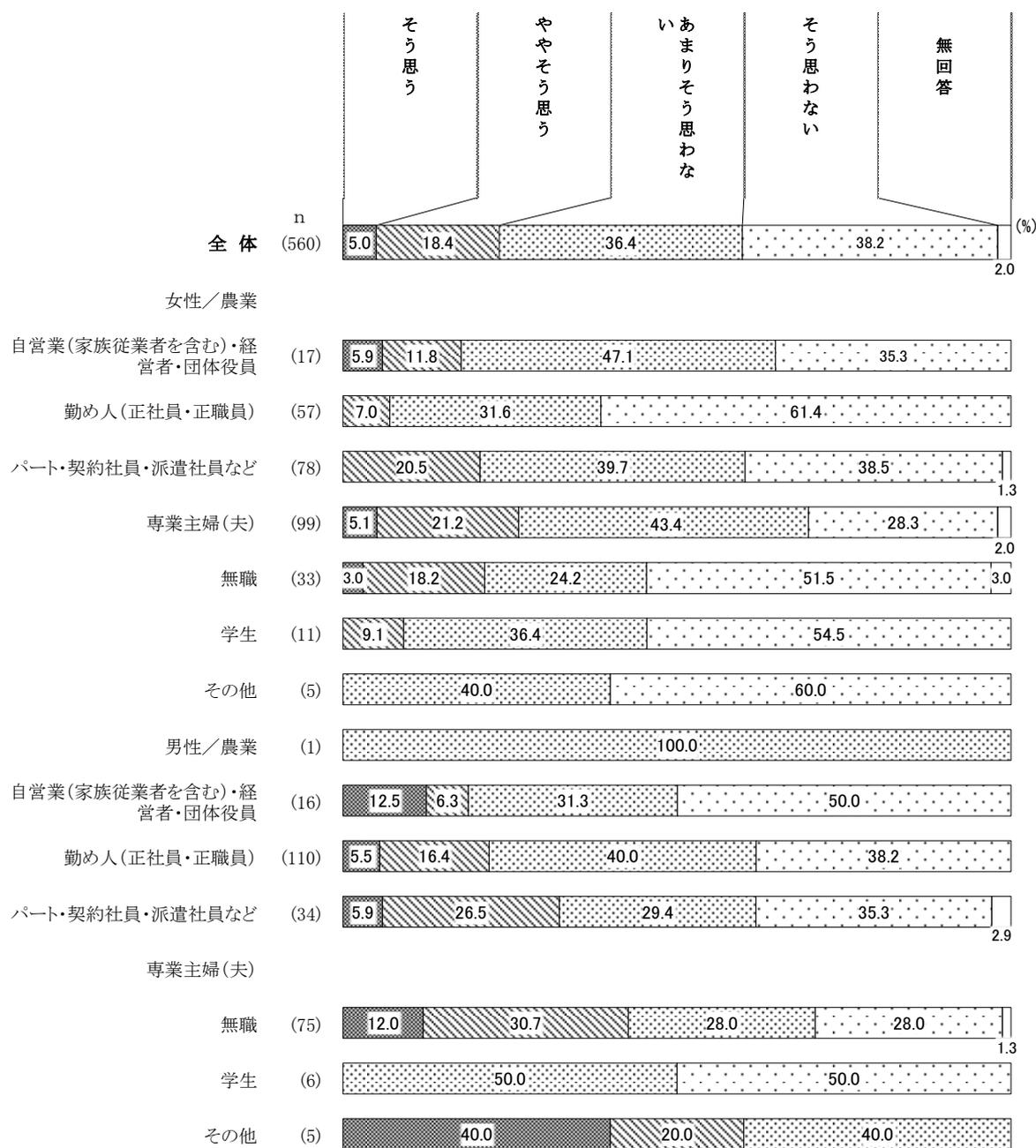
第2章 調査結果の詳細

【性年齢別】



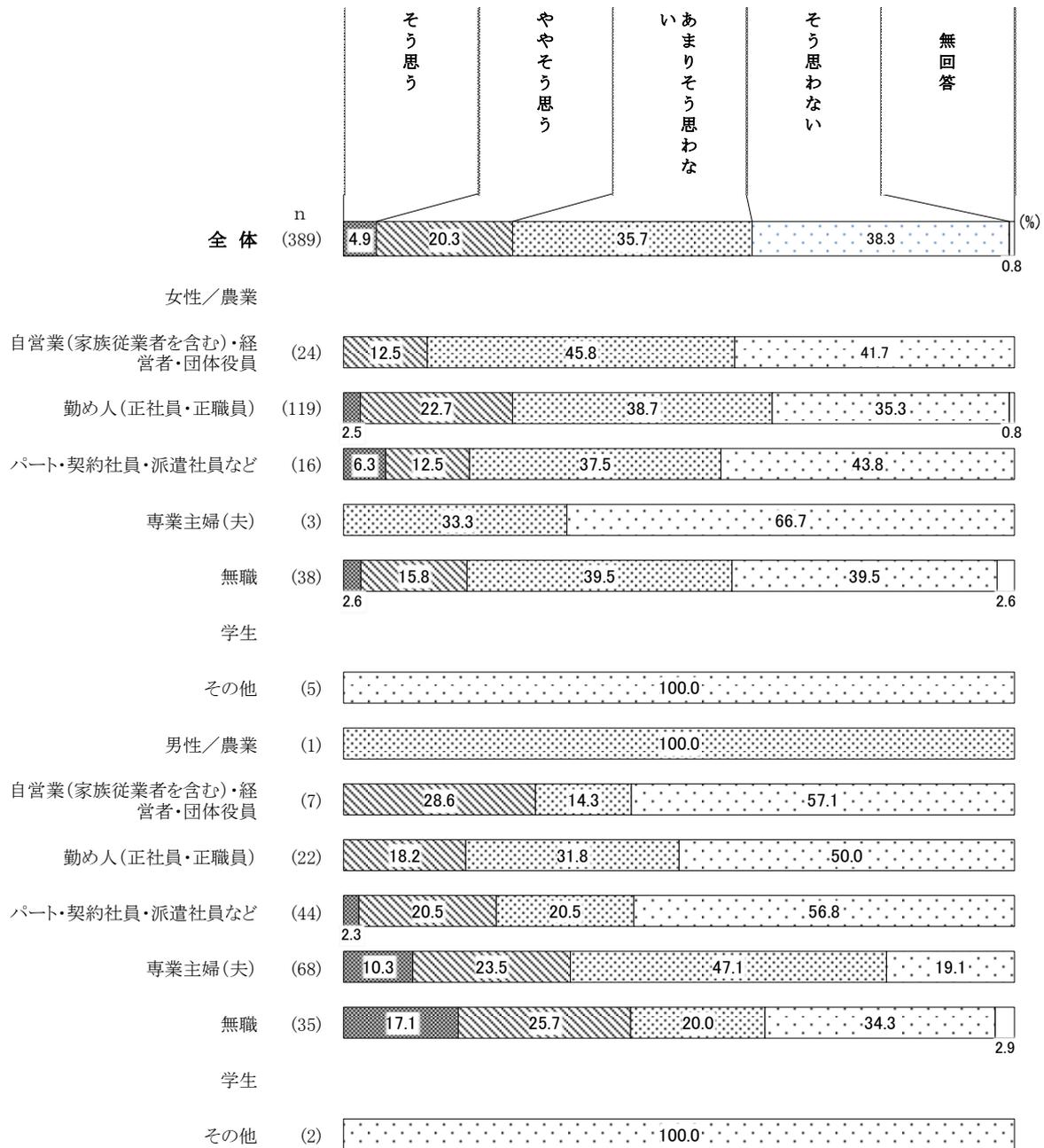
性年齢別で見ると、男性において「そう思う」は年齢が上がるほど高くなる傾向にあり、70歳～79歳で15.0%となっています。

【性別×本人の職業別】

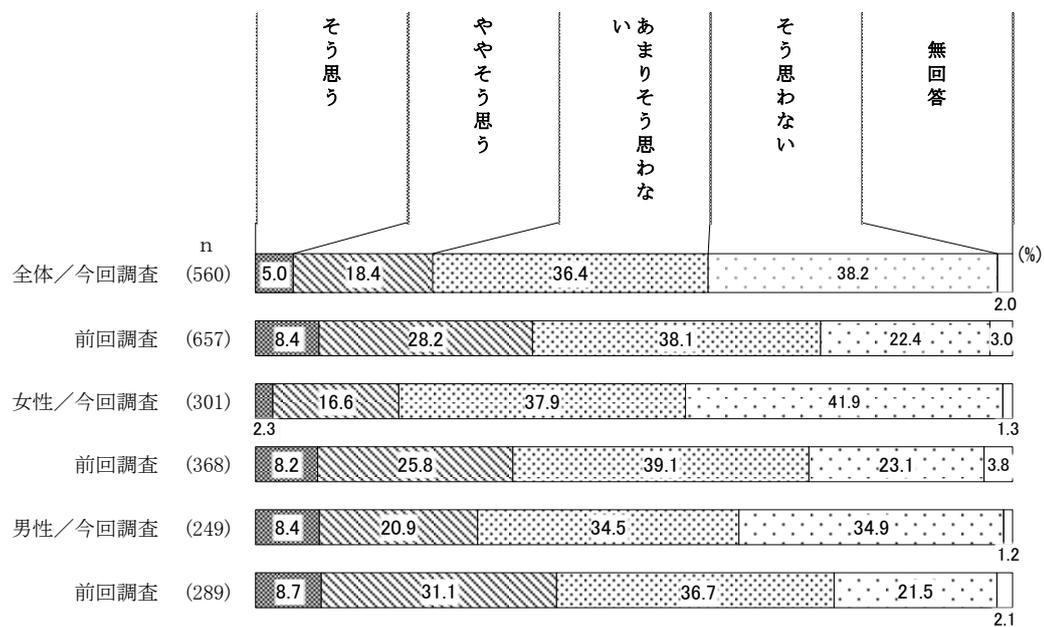


第2章 調査結果の詳細

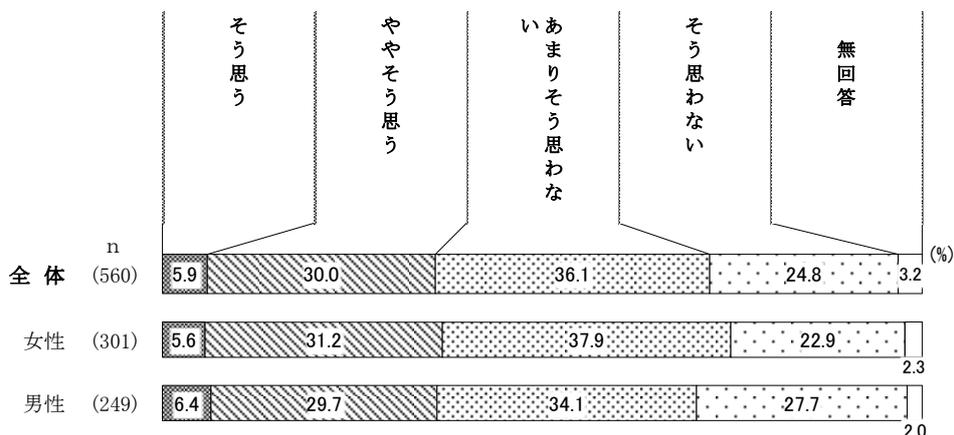
【性別×パートナーの職業別】



【前回との比較】

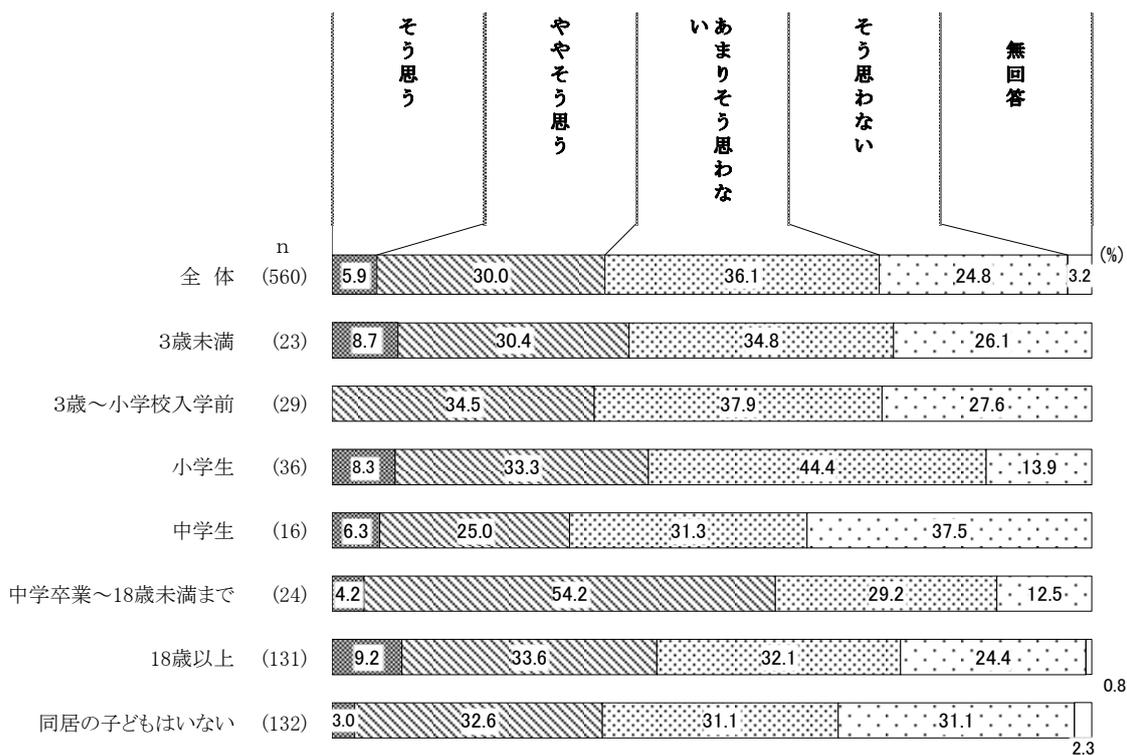


②パートナーには、できれば自分の意見に従ってもらいたい

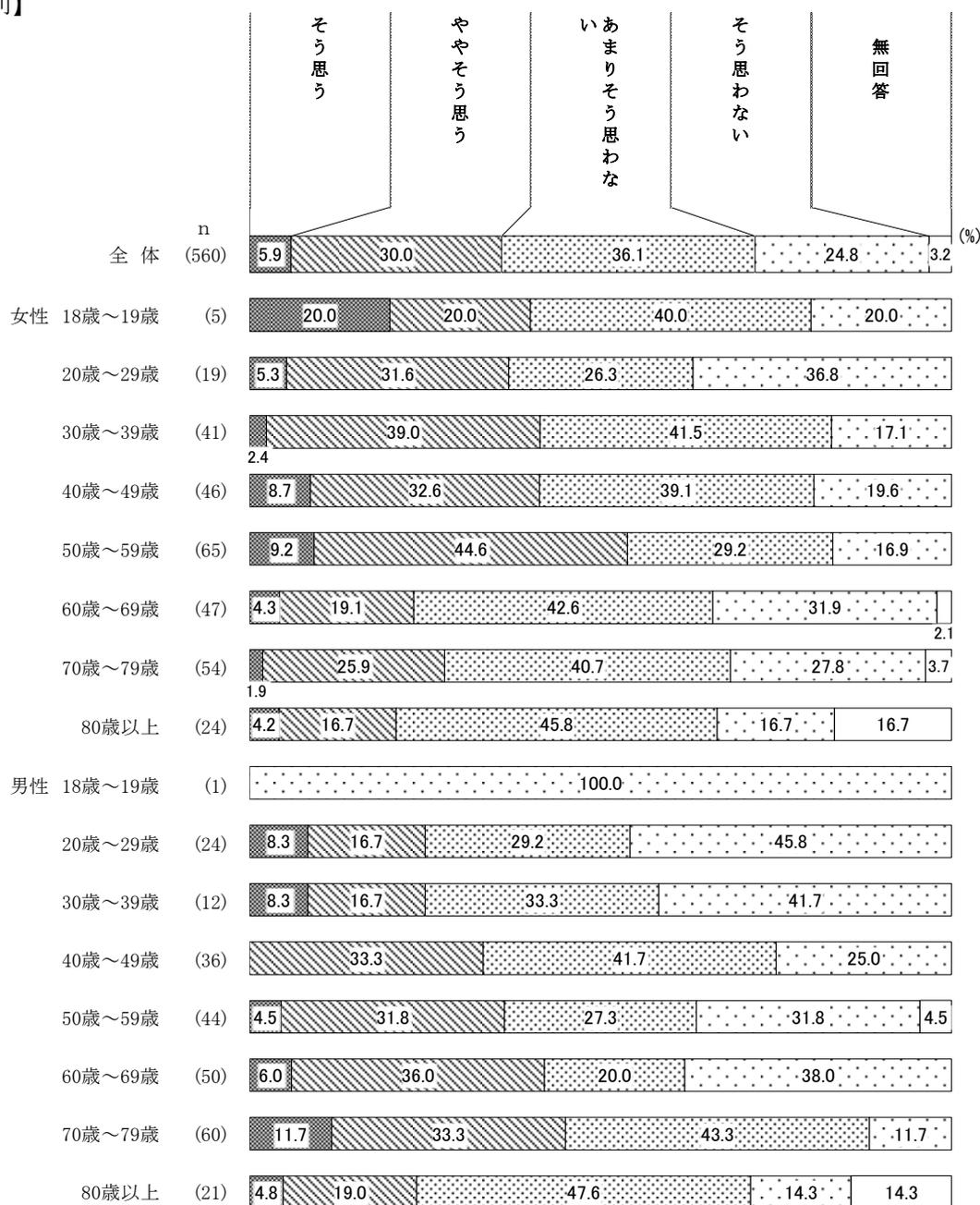


男女別で見ると、男性において「そう思わない」が女性と比べて4.8ポイント高くなっています。

【末子の年齢別】



【性年齢別】

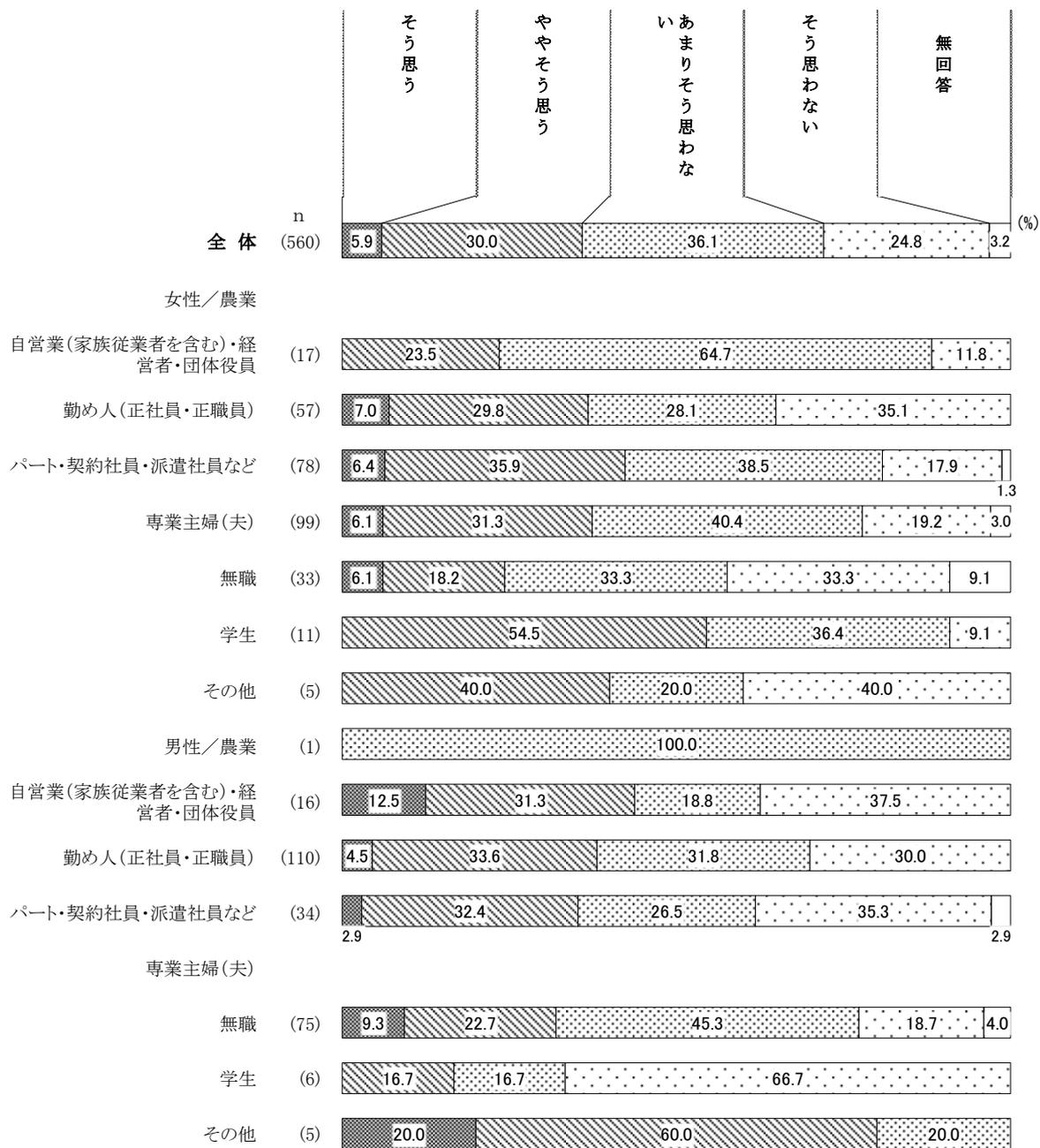


性年齢別で見ると、「ややそう思う」は女性において50歳～59歳までは年齢が上がるほど高くなる傾向にあり、特に女性の50歳～59歳で44.6%となり、それ以降は下がる傾向にあります。

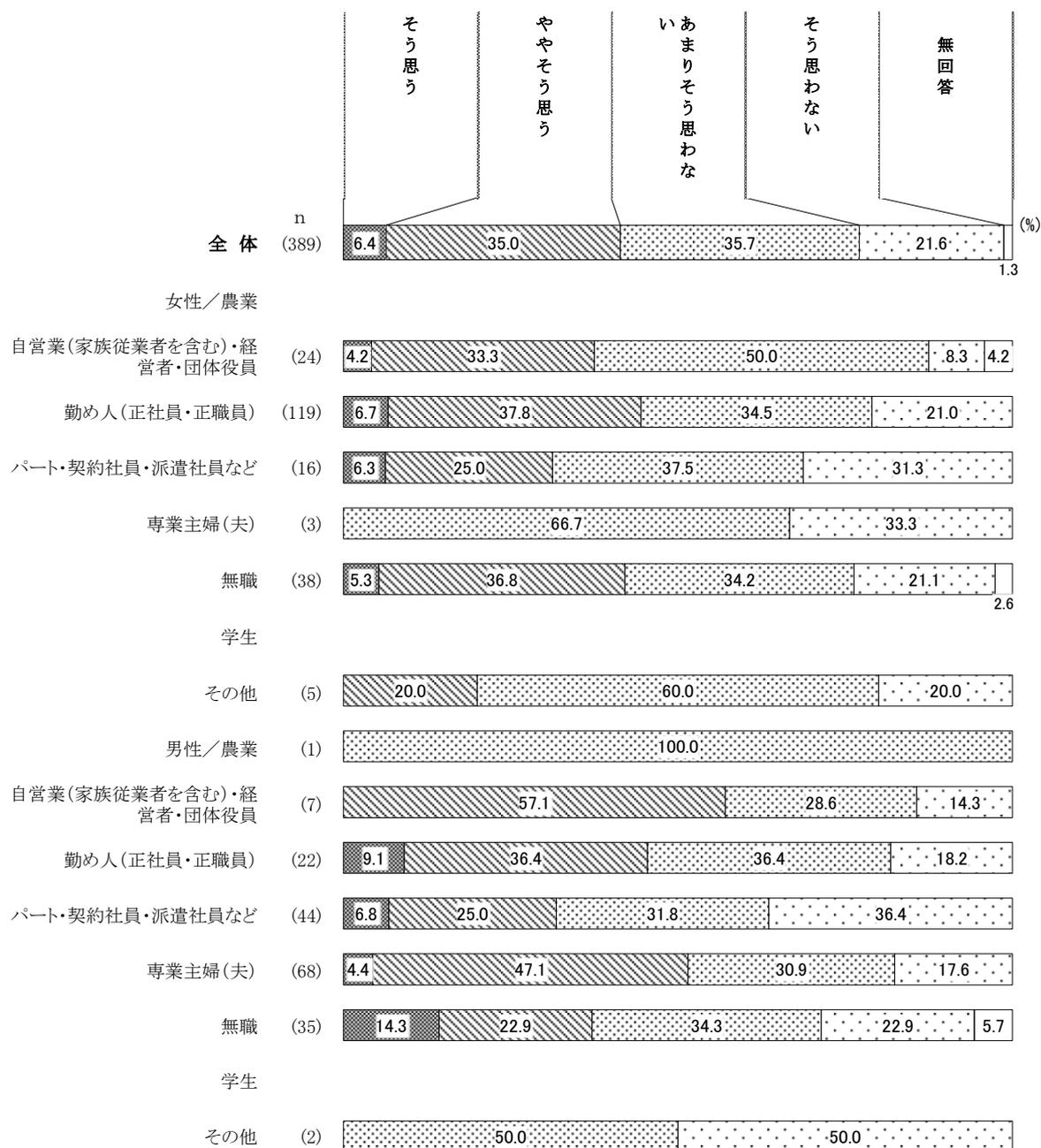
男性においても「ややそう思う」は年齢が上がるほど高くなる傾向にあり、男性の60歳～69歳において36.0%となっています。

第2章 調査結果の詳細

【性別×本人の職業別】

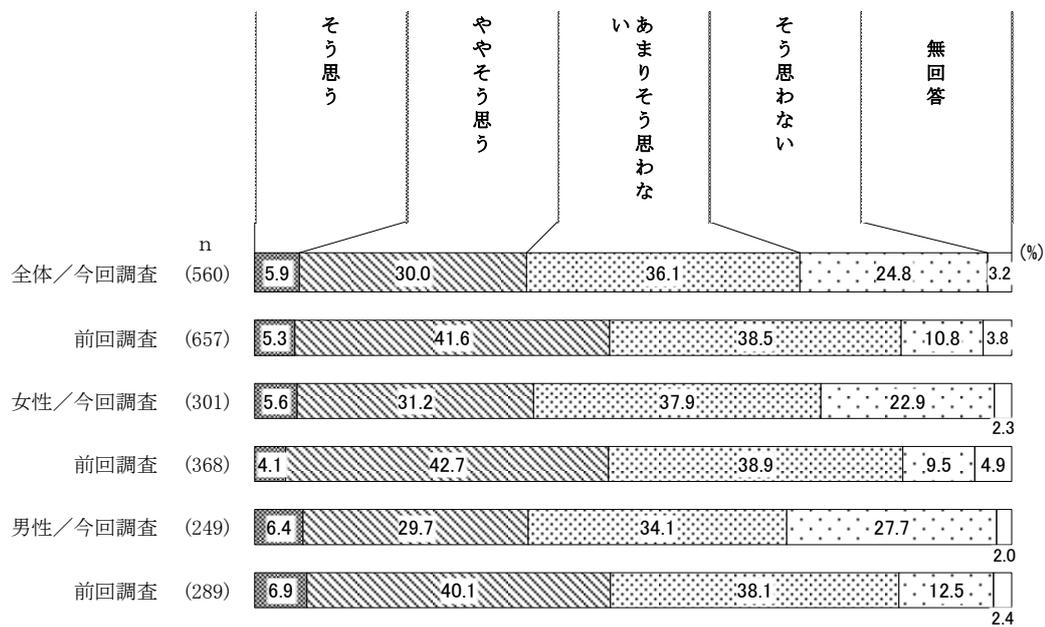


【性別×パートナーの職業別】

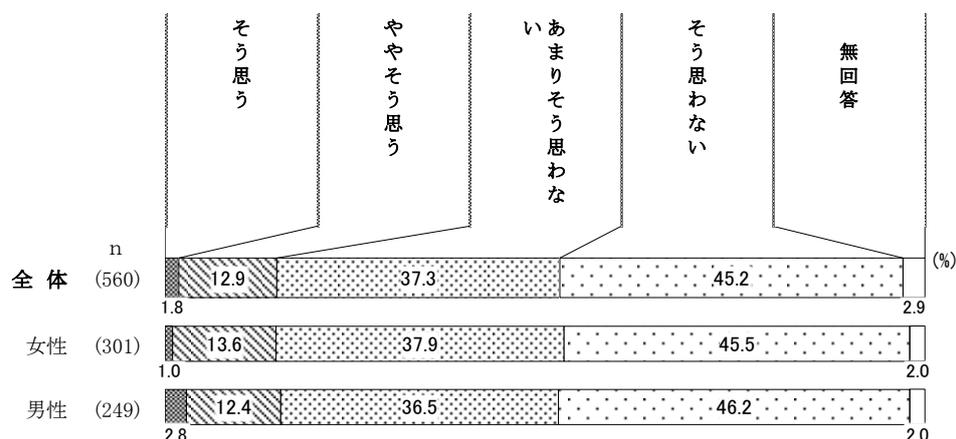


第2章 調査結果の詳細

【前回との比較】

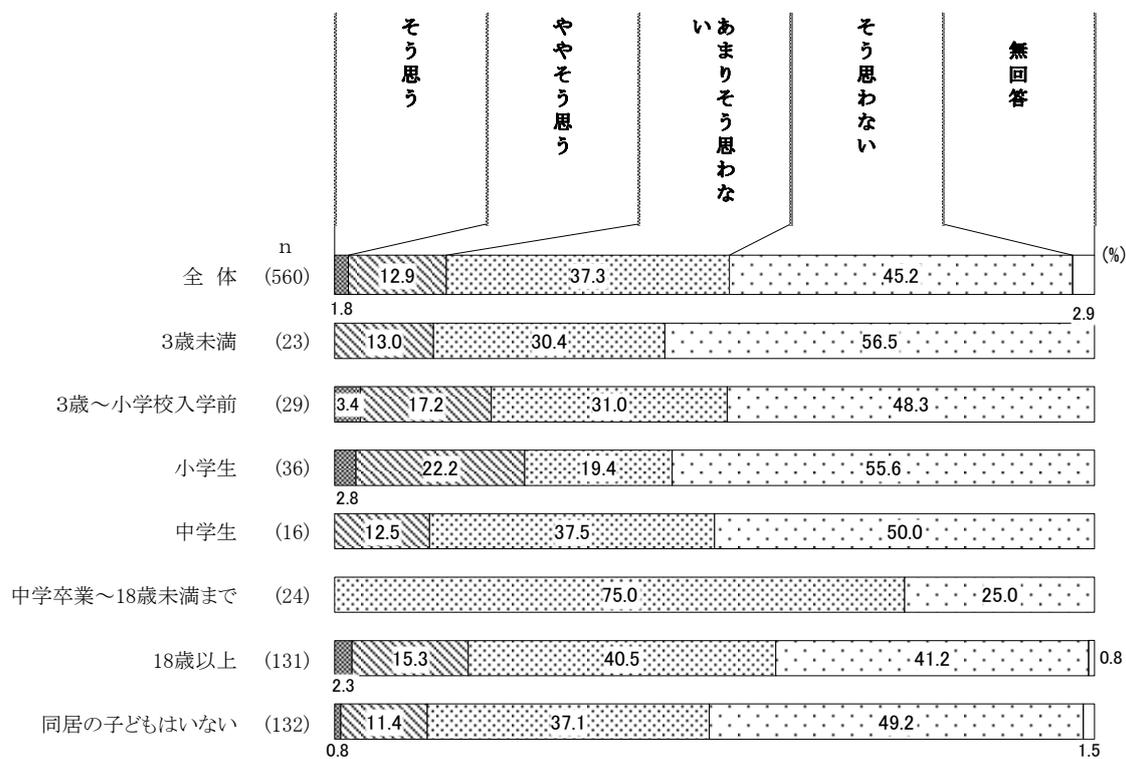


③妻が仕事を持つのは、家族の負担が重くなり、よくない



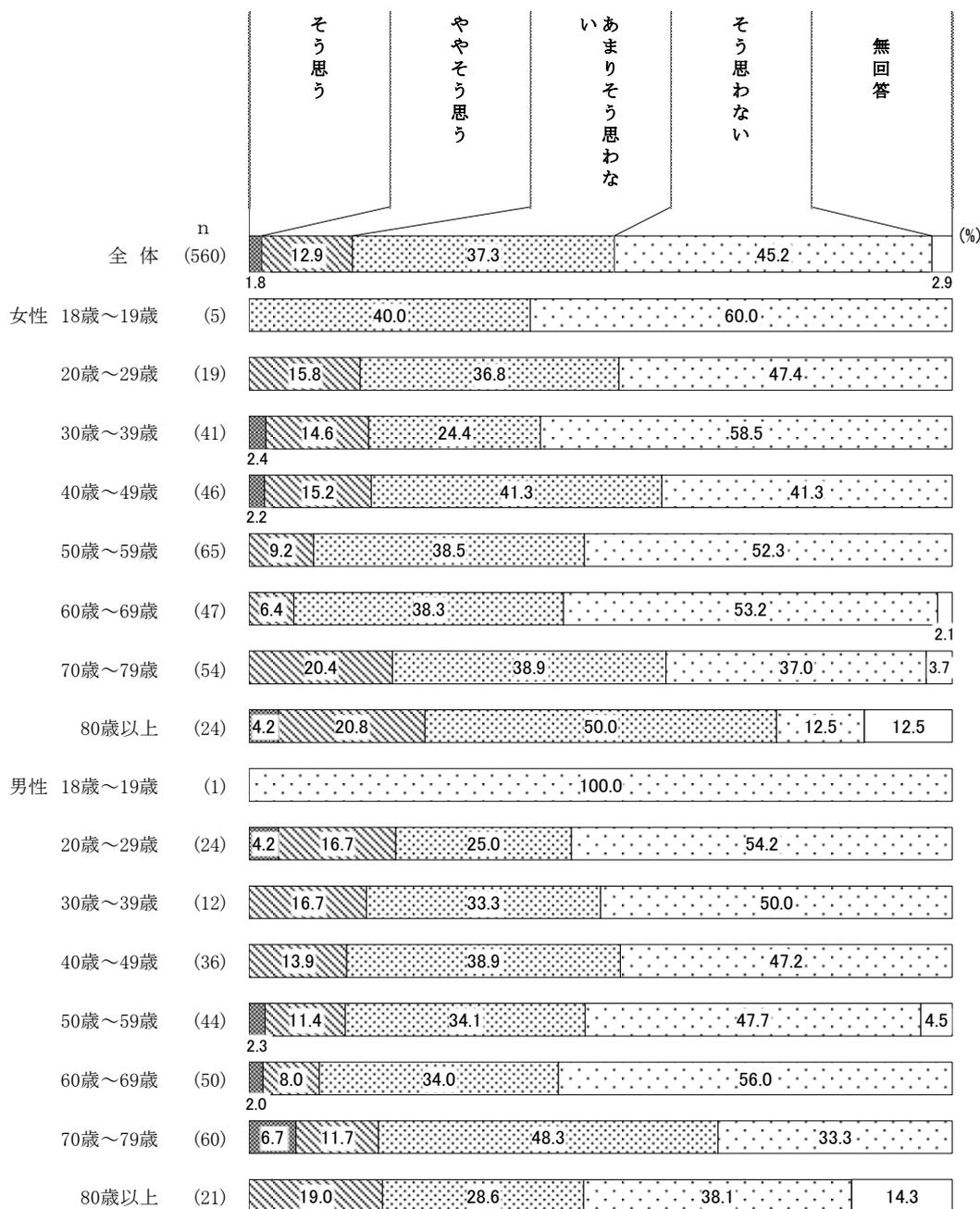
男女別で見ると、大きな差は見られません。

【末子の年齢別】



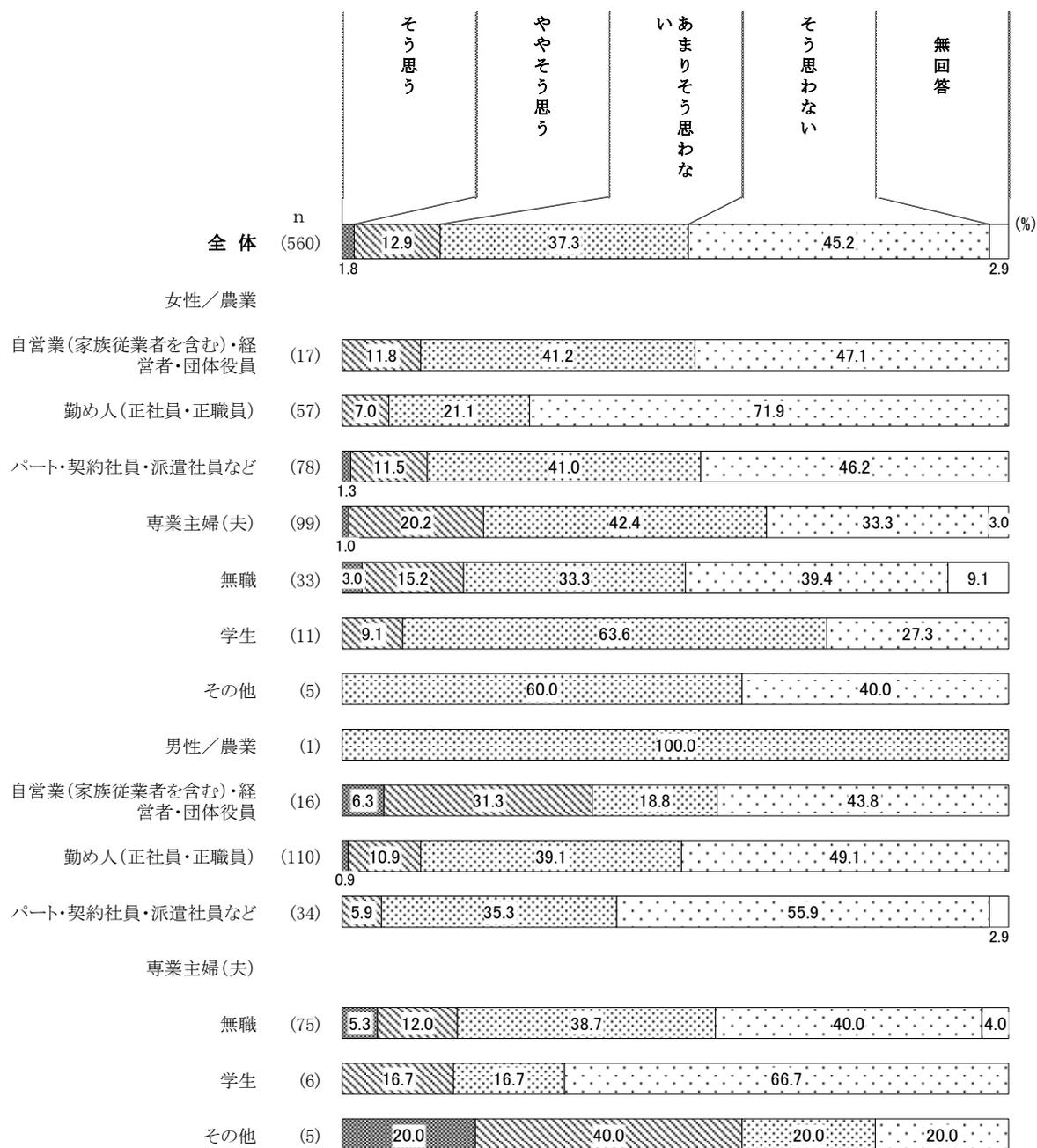
第2章 調査結果の詳細

【性年齢別】



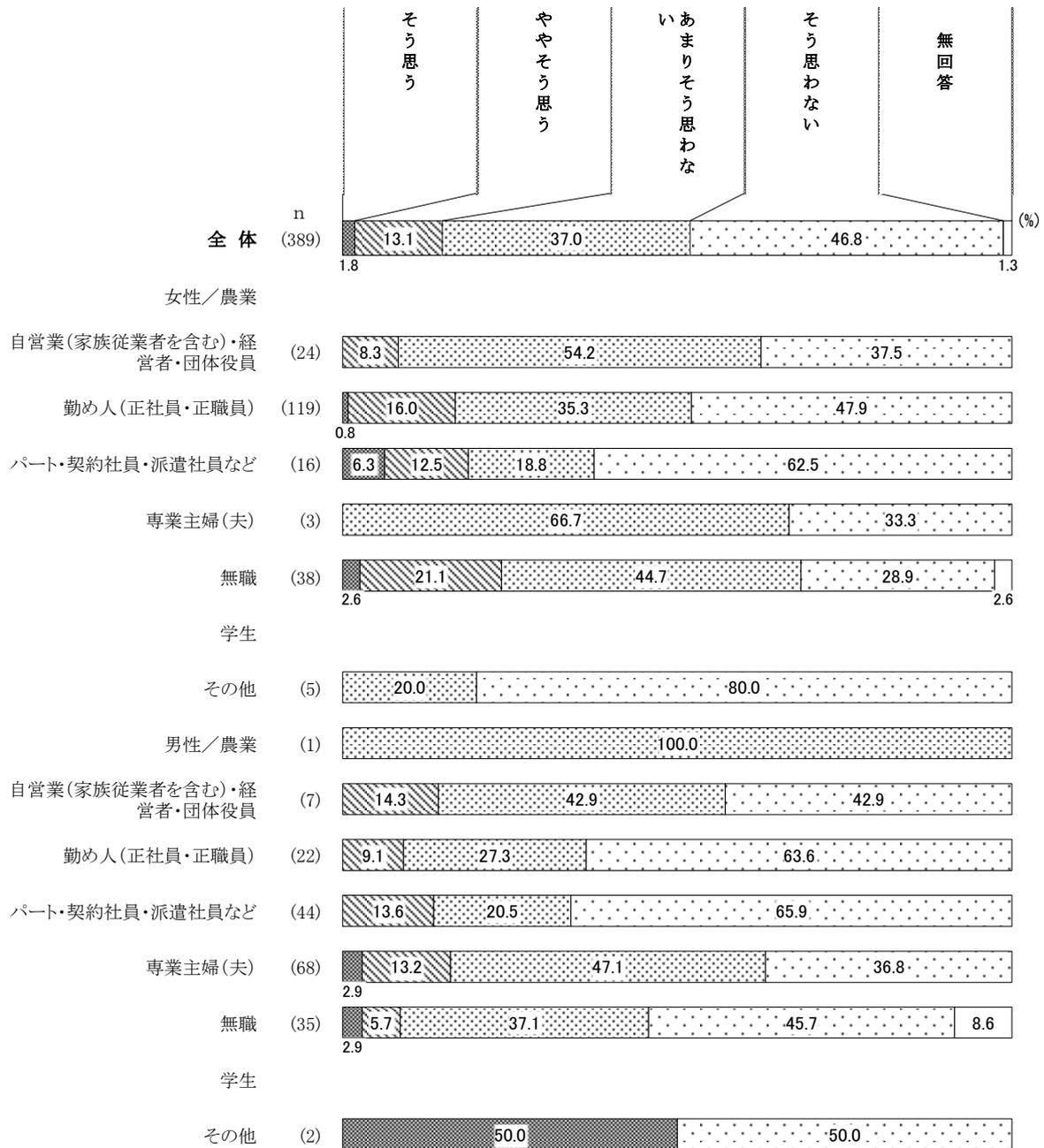
性年齢別で見ると、男性において「そう思わない」は70歳～79歳を除く各年代で最も高くなっており、男性の60歳～69歳において56.0%となっています。

【性別×本人の職業別】

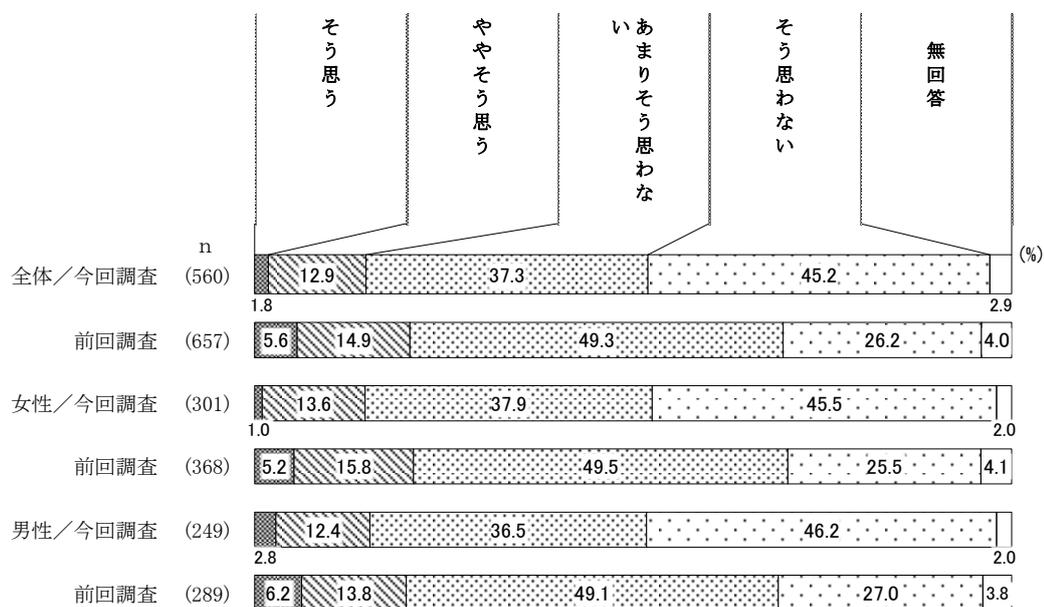


第2章 調査結果の詳細

【性別×パートナーの職業別】

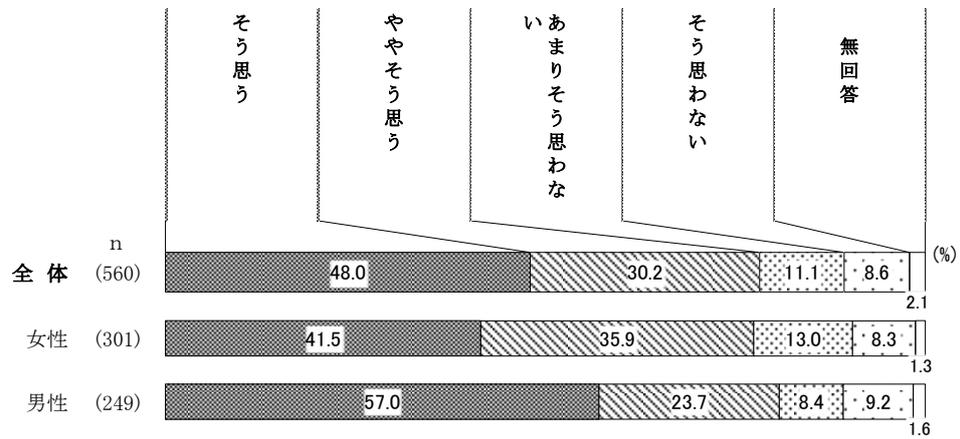


【前回との比較】



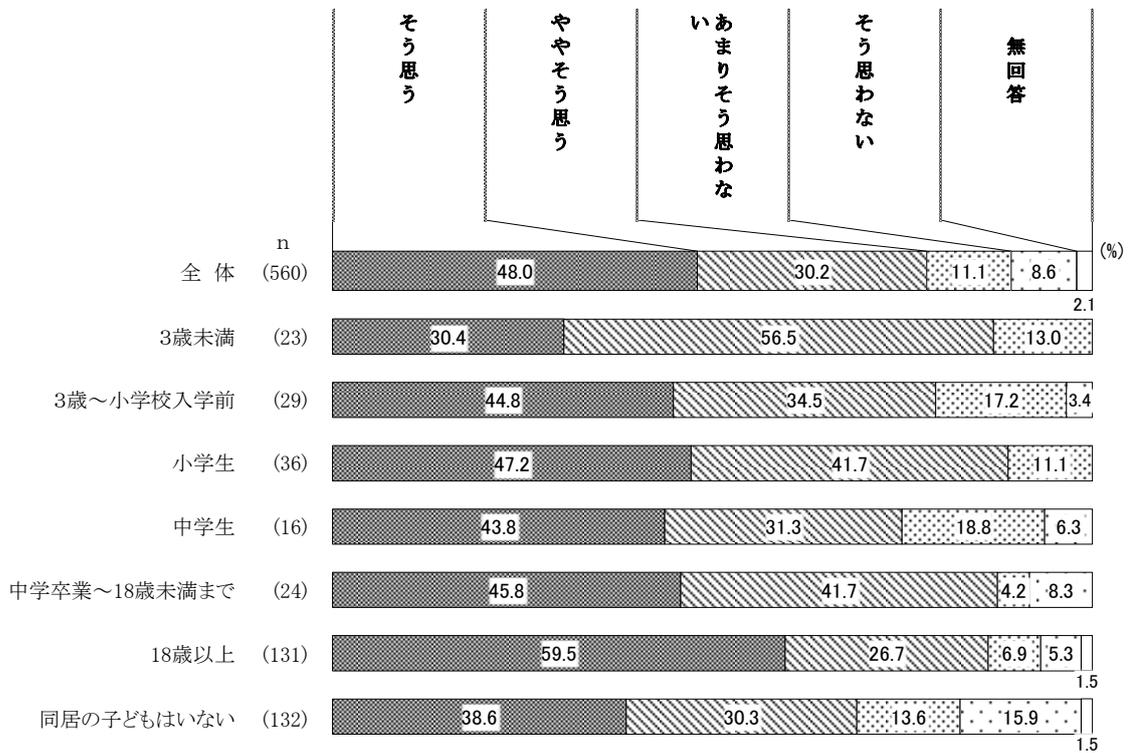
第2章 調査結果の詳細

④子どもは持った方がよい

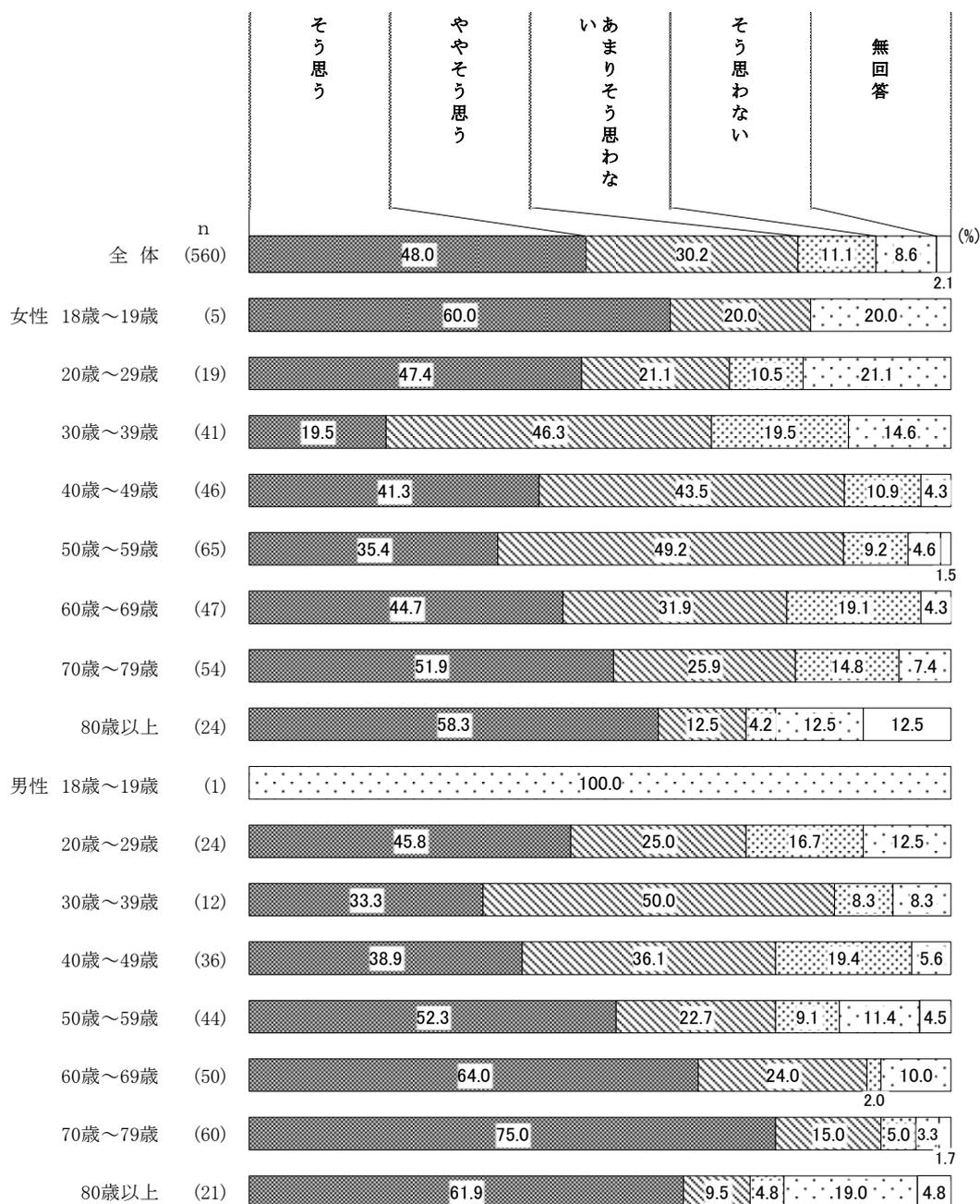


男女別で見ると、男性において「そう思う」が女性と比べて15.5ポイント高くなっています。

【末子の年齢別】



【性年齢別】

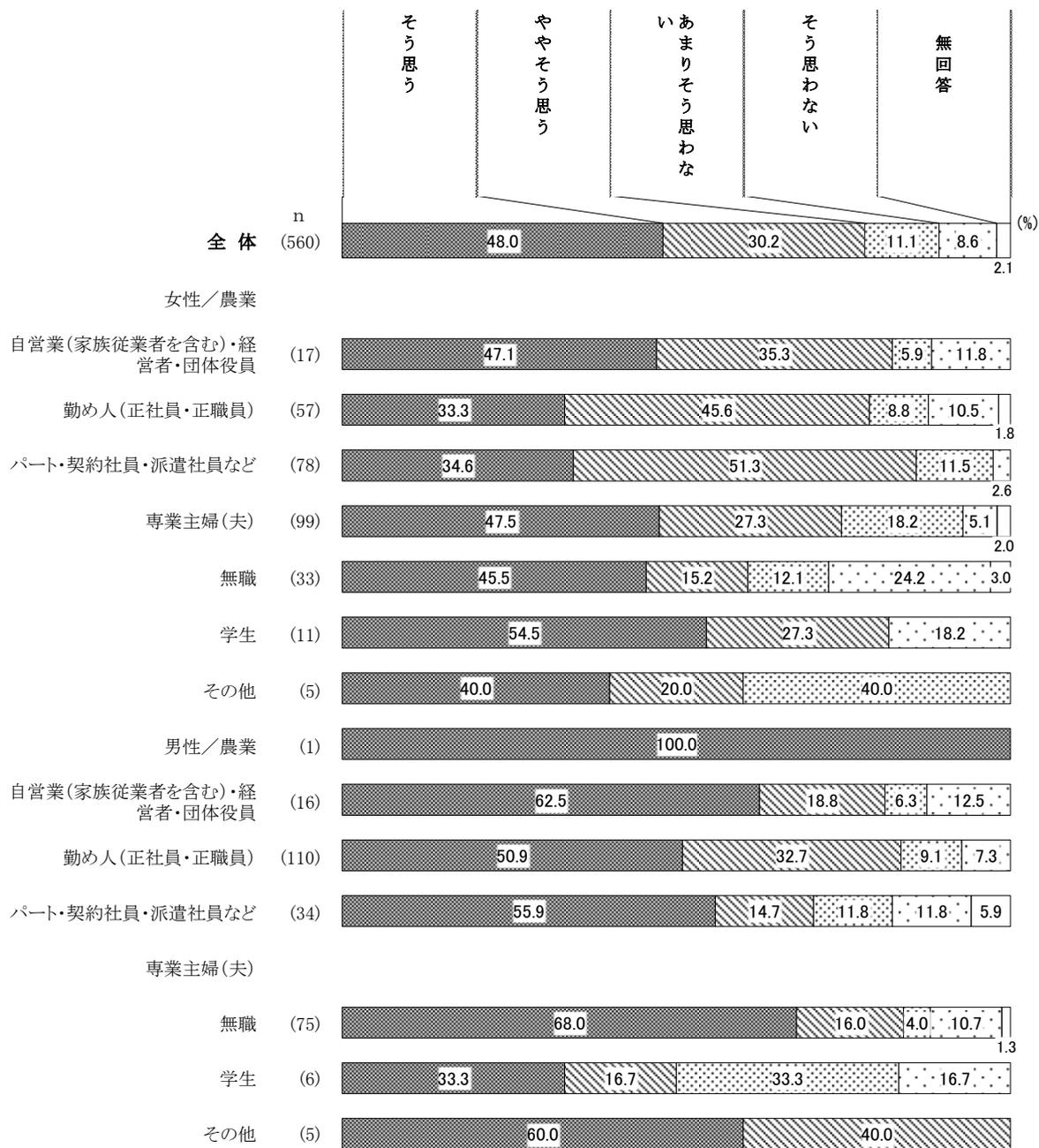


性年齢別で見ると、「そう思う」は女性の30歳～39歳において19.5%と他の年代と比べて低くなっています。

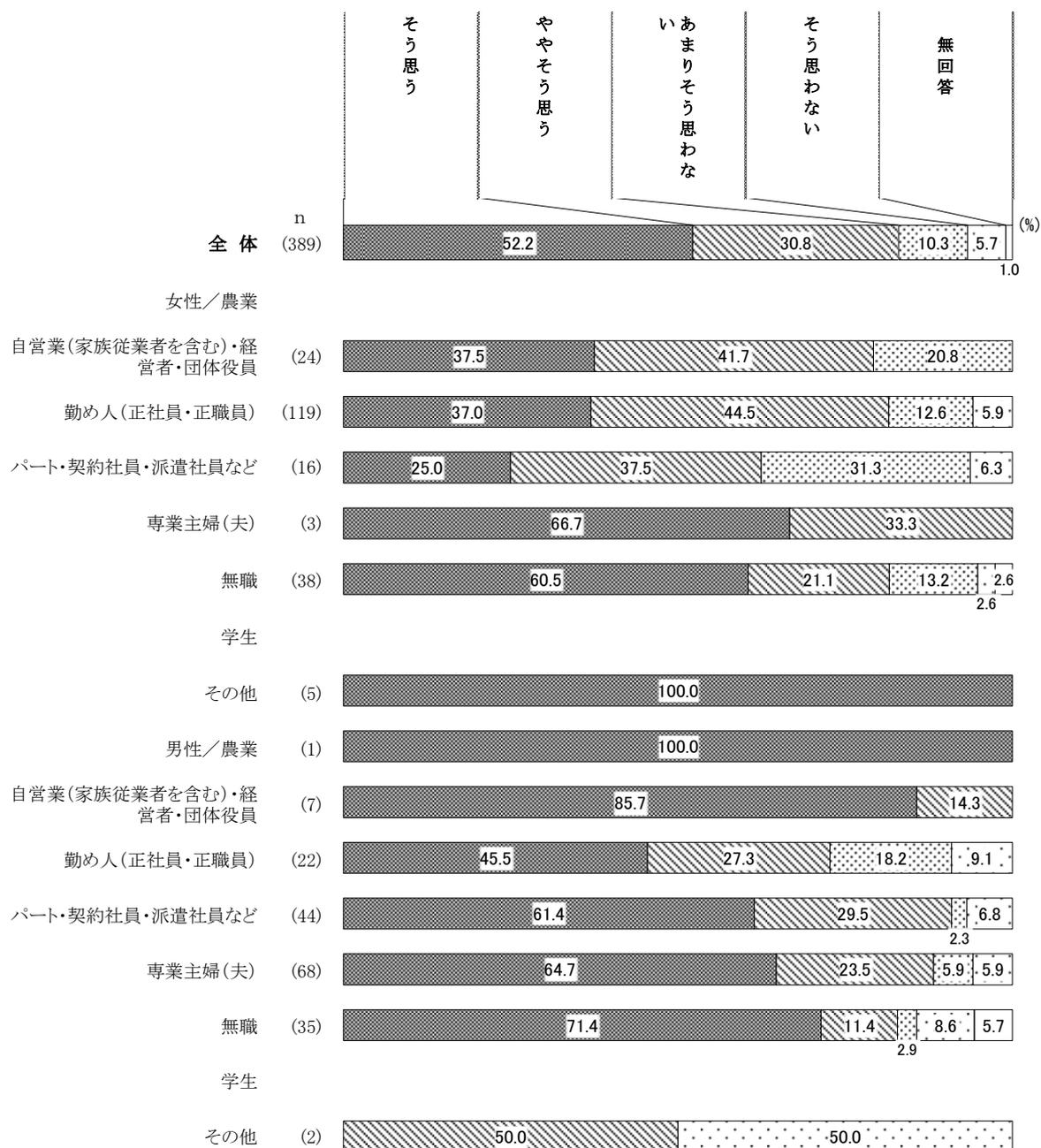
男性においては「そう思う」は年齢が上がるほど高くなる傾向にあり、男性の70歳～79歳で75.0%となっています。

第2章 調査結果の詳細

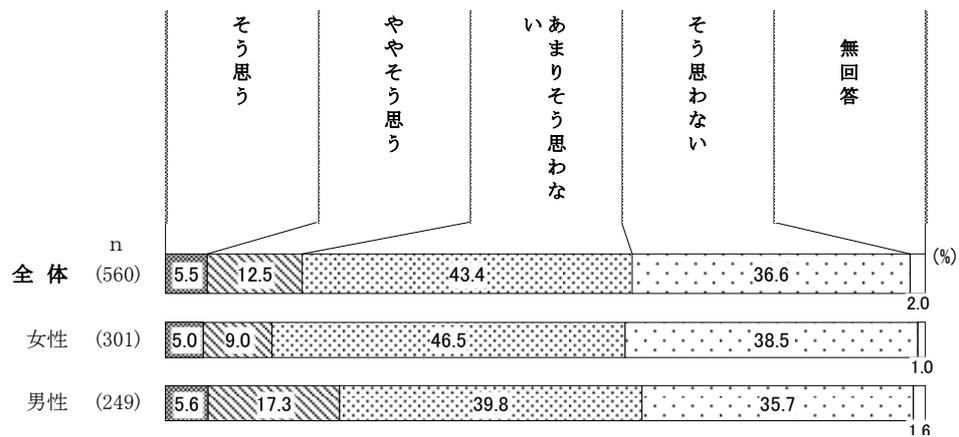
【性別×本人の職業別】



【性別×パートナーの職業別】

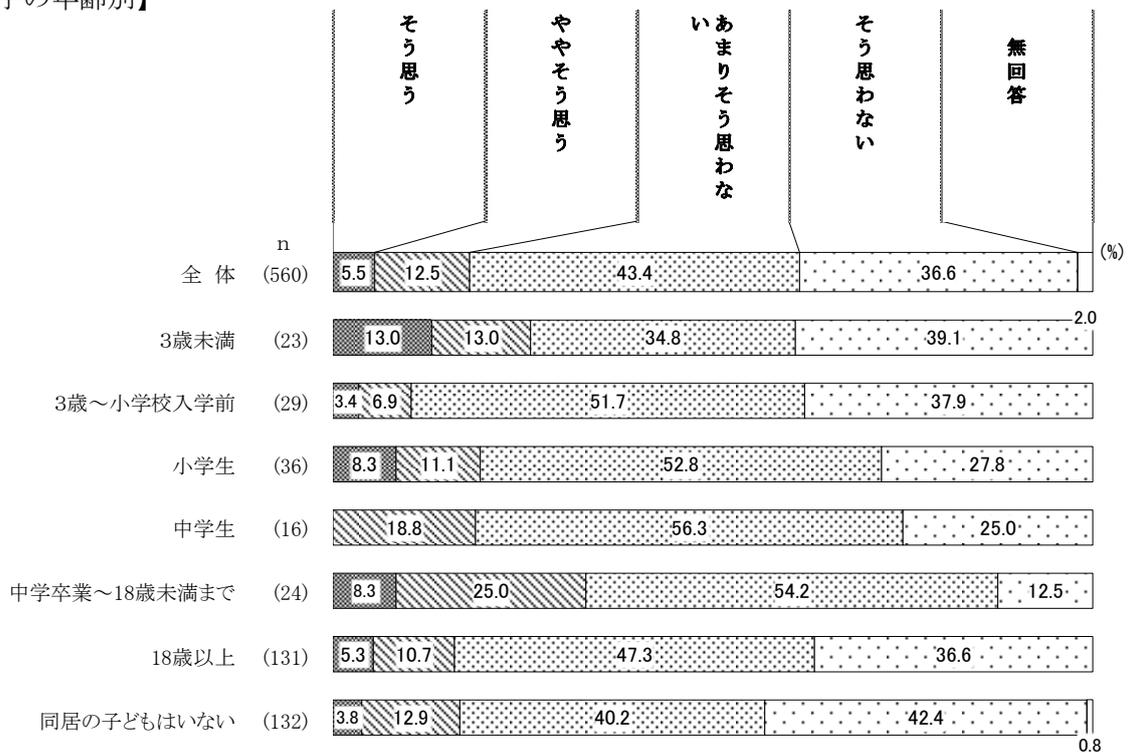


⑤子どもは親と同居し、親を扶養するのがよい

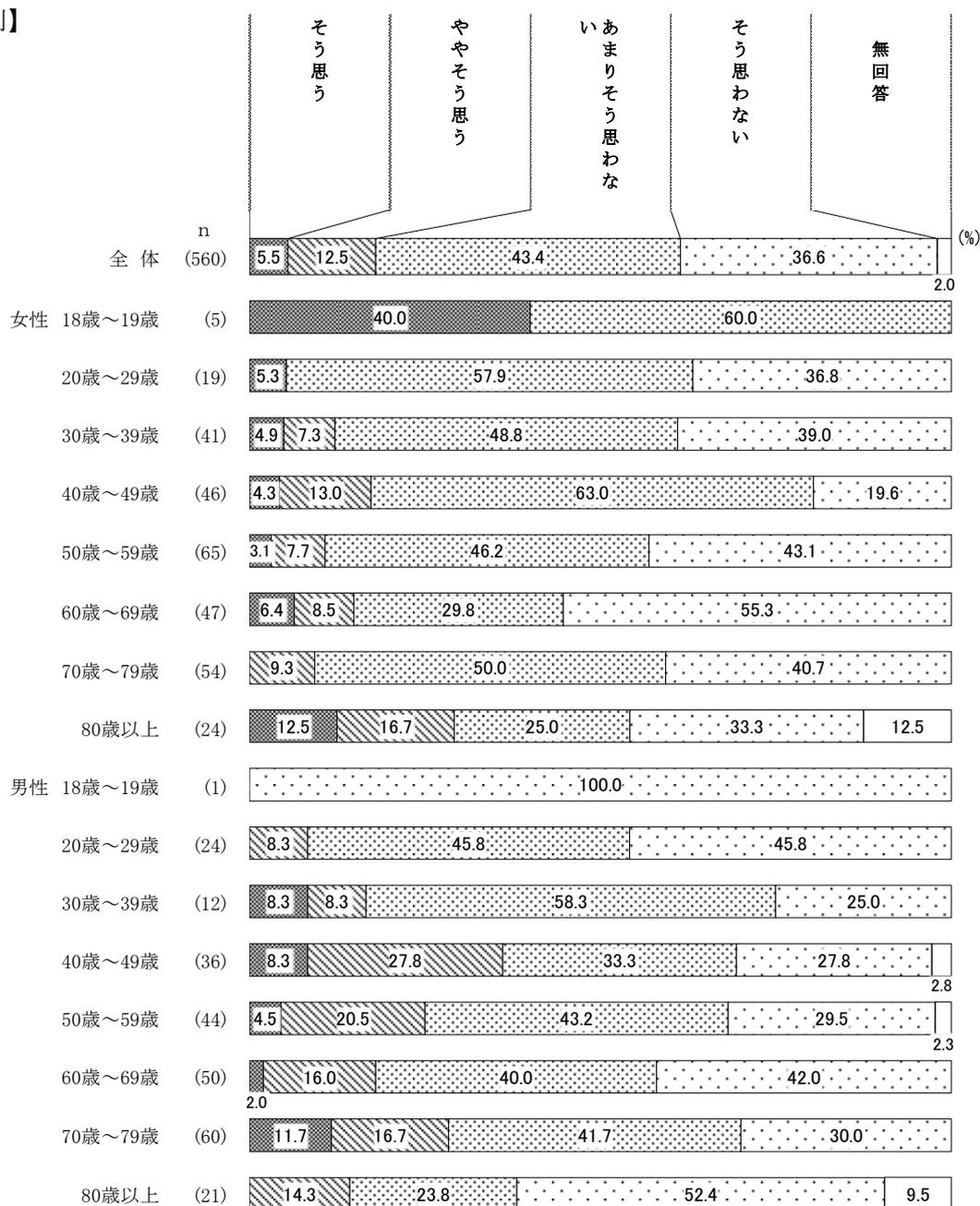


男女別で見ると、女性において「あまりそう思わない」が男性と比べて6.7ポイント高くなっています。

【末子の年齢別】



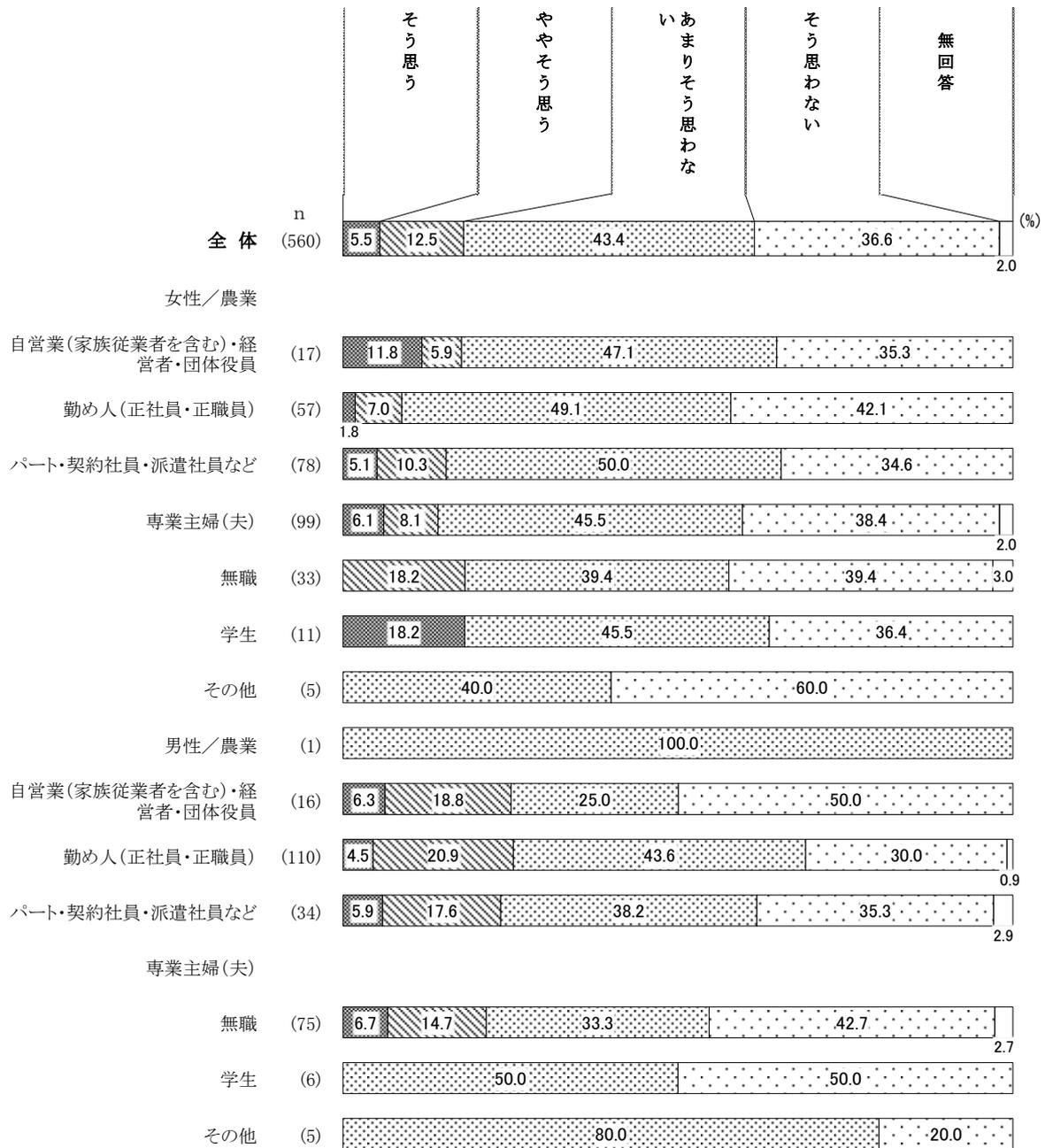
【性年齢別】



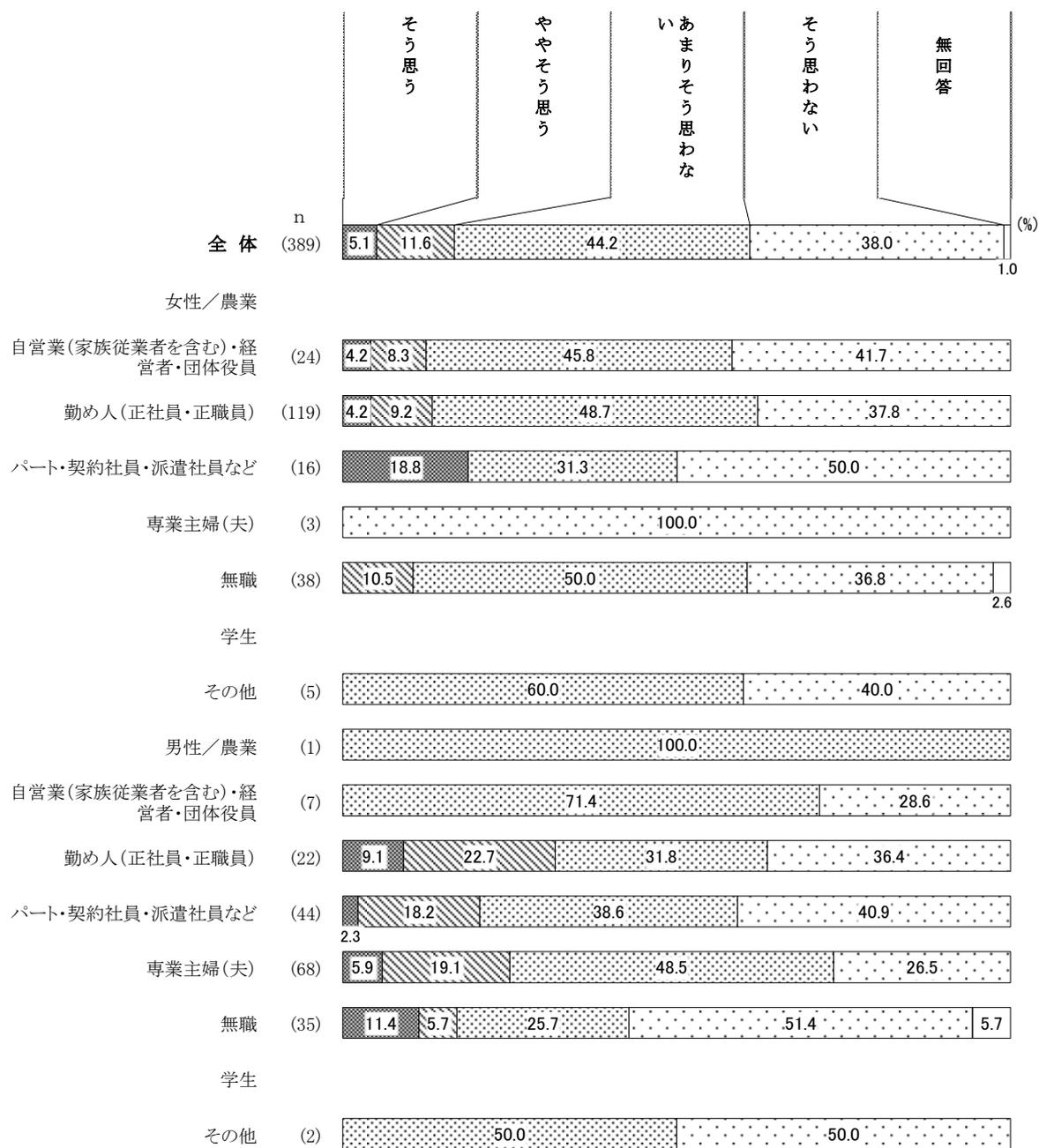
性年齢別で見ると、女性の60歳～69歳において「そう思わない」が55.3%と最も高くなっています。男性の40歳～49歳において「ややそう思う」は27.8%と他の年代と比べて高くなっています。

第2章 調査結果の詳細

【性別×本人の職業別】

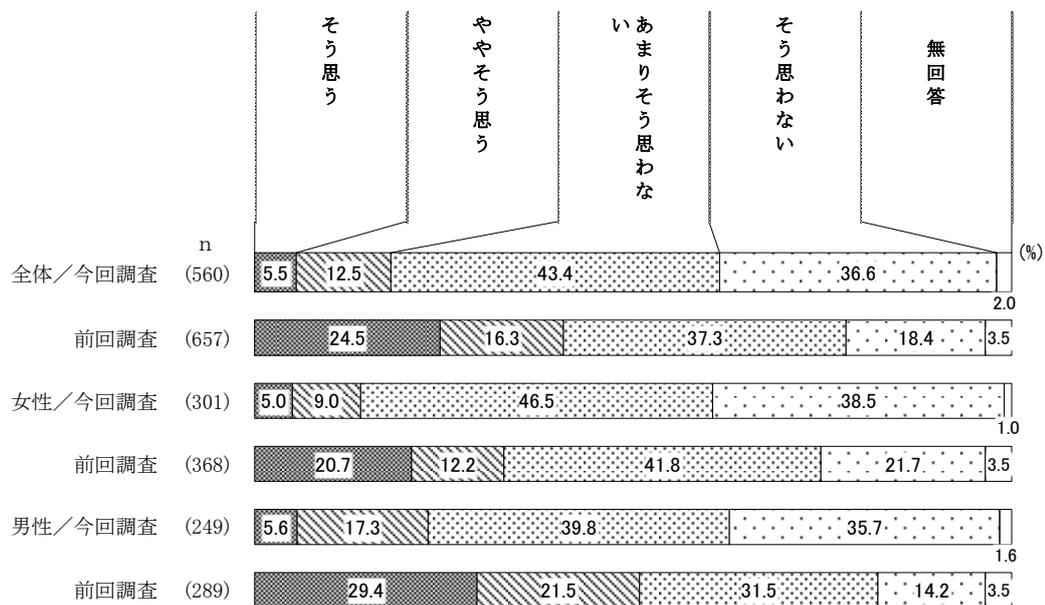


【性別×パートナーの職業別】

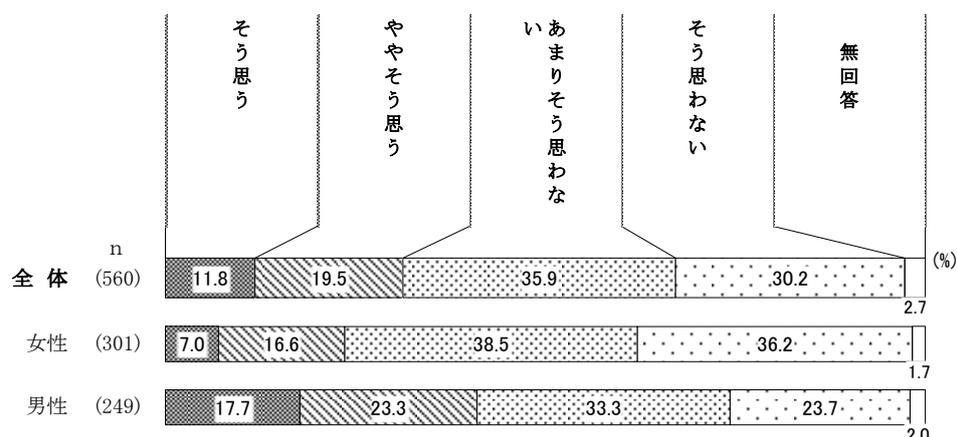


第2章 調査結果の詳細

【前回との比較】

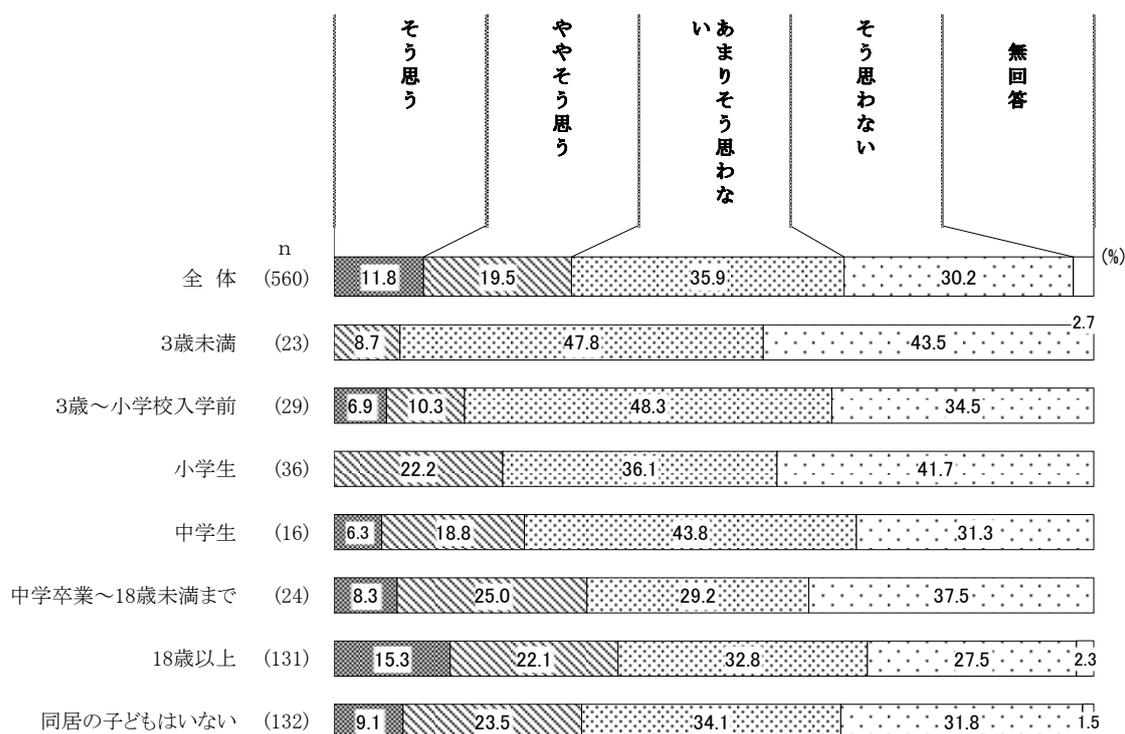


⑥嫁に行った娘は、嫁ぎ先の家の人間だ



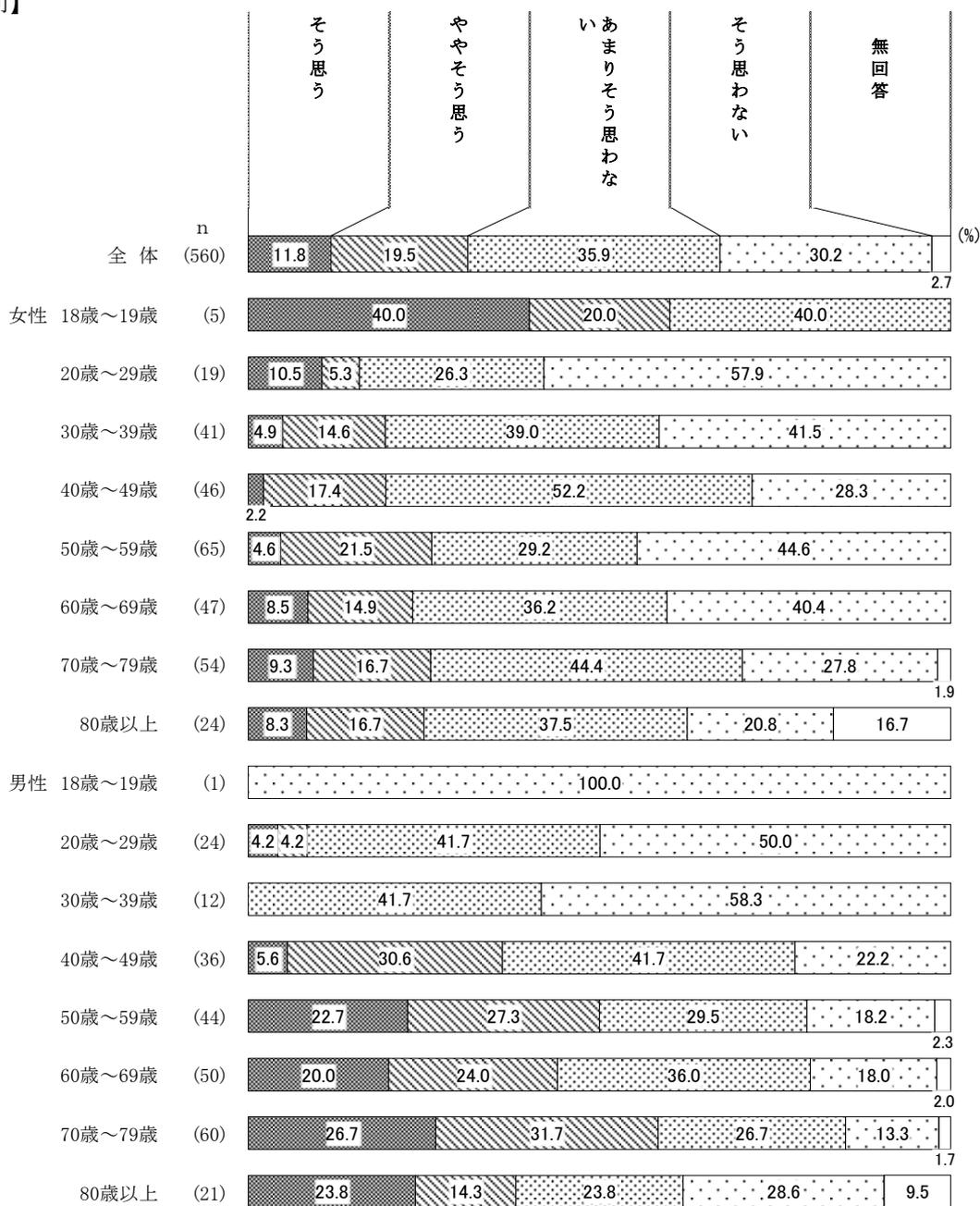
男女別で見ると、女性において「そう思わない」が男性と比べて12.5ポイント高くなっています。一方で、男性において「そう思う」が女性と比べて10.7ポイント高くなっています。

【末子の年齢別】



第2章 調査結果の詳細

【性年齢別】



性年齢別で見ると、女性の40歳～49歳において「あまりそう思わない」は52.2%と他の年代と比べて高くなっています。

男性において「そう思う」は50歳以降で2割台となっています。